

道路事業の再評価説明資料

〔国道470号 能越自動車道〕
輪島道路（輪島道路・輪島道路（Ⅱ期））

平成26年8月

北陸地方整備局

目 次

1. 事業概要		
(1) 事業目的	P 1
(2) 計画概要	P 2
2. 現在に至る経緯	P 3
3. 当該道路の役割・効果	P 4
(1) 3便益に係る整備効果	P 6
① 走行時間の短縮	P 6
② 交通事故件数の減少	P 7
(2) その他の効果	P 8
① 第一次緊急輸送道路の強化、代替路線の形成	P 8
② 救命救急活動の支援及びバス交通の定時性確保	P 9
③ 能登空港及び輪島港へのアクセス向上	P 10
④ 主要な観光地へのアクセス向上	P 11
⑤ 地域連携プロジェクト（石川県長期構想）の支援	P 12
4. 費用対効果	P 13
5. 対応方針（原案）	P 14
客観的評価指標抽出資料	P 15

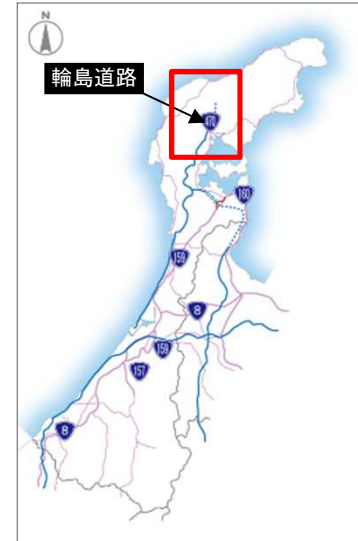
1. 事業概要

(1) 事業目的

当事業は、石川県輪島市から富山県砺波市に至る能越自動車道を構成する一部として、輪島市杉平町～三井町洲衛(延長11.5km)について、

- 高規格幹線道路網の形成
- 災害に強いネットワークの形成
- 第三次医療施設へのアクセス向上
- アクセス時間の短縮による地域の発展・観光の活性化 などを目的とし、高規格幹線道路の整備を行うものである。

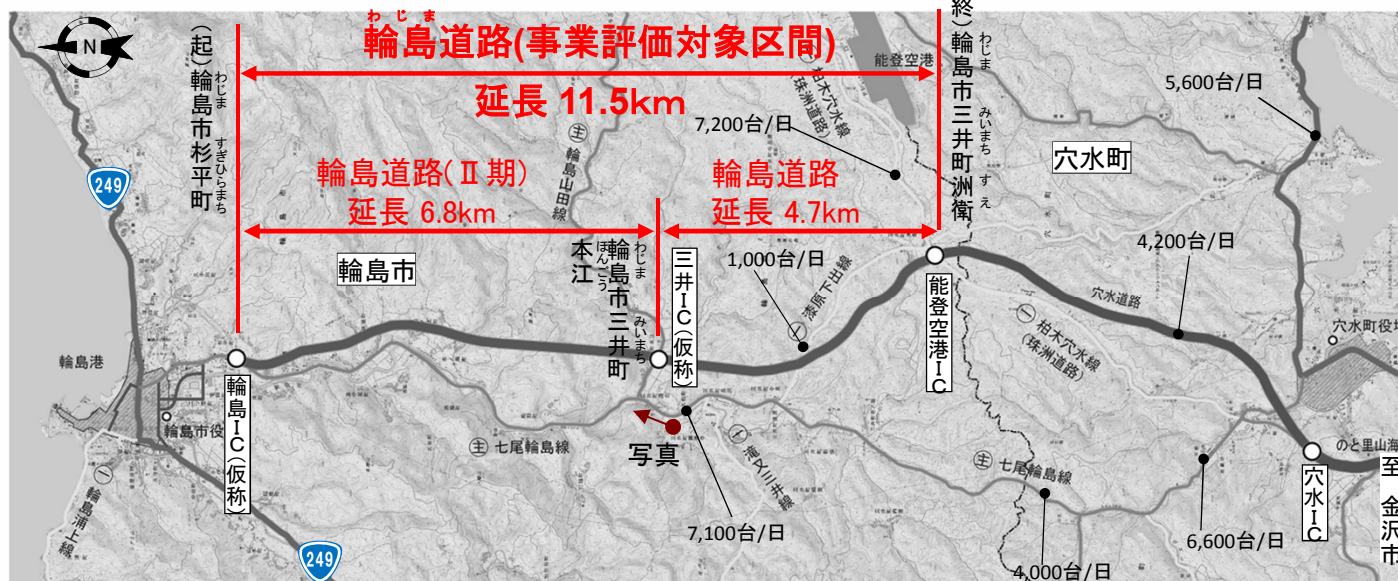
【広域位置図】



【能越自動車道の概要】



【平面図】



※出典: H22センサス



【写真】並行する七尾輪島線の

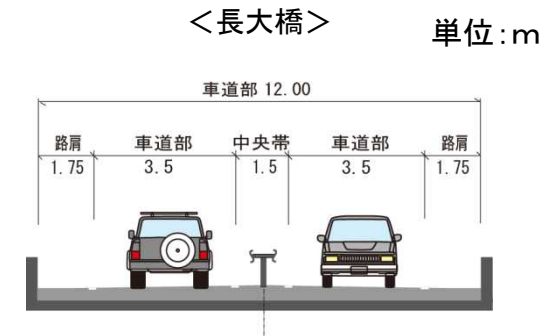
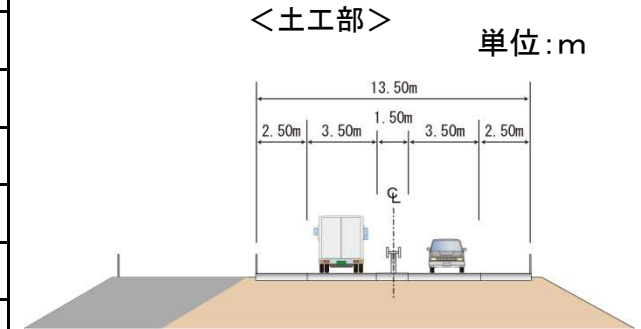
状況(輪島市三井町本江) — 1 —

1. 事業概要

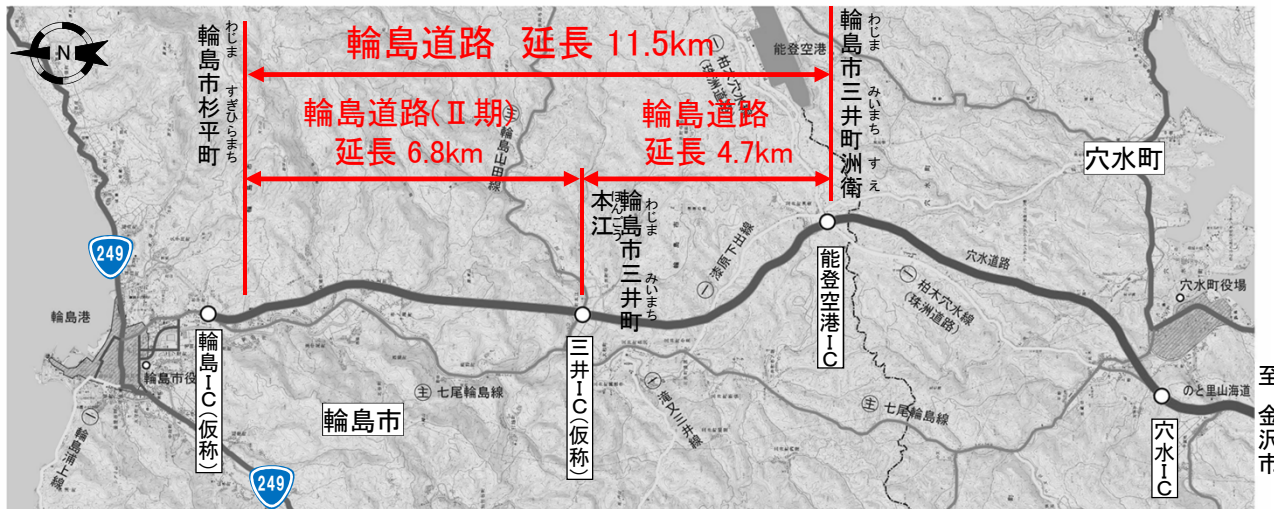
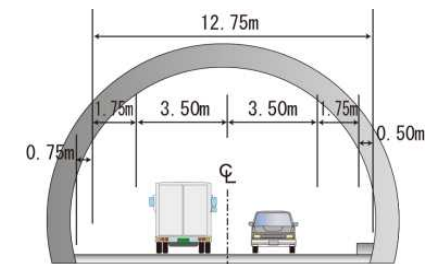
(2) 計画概要

路線名	国道470号 能越自動車道	
事業名	輪島道路(Ⅱ期)	輪島道路
延長	6.8km	4.7km
起終点	(起)石川県輪島市杉平町	(起)石川県輪島市三井町本江
	(終)石川県輪島市三井町本江	(終)石川県輪島市三井町洲衛
都市計画決定	平成11年度	
事業化	平成24年度	平成18年度
用地着手	未着手	平成22年度
工事着手	未着手	平成25年度
全体事業費	240億円(暫定2車線)	150億円(暫定2車線)
平成26年度末までの投資額(予定)	5.5億円(進捗率約2%)	30億円(進捗率約20%)

【標準断面図】



<トンネル部> 単位:m



2. 現在に至る経緯

(1) 事業の経緯

年度	主な経緯
平成11年度	都市計画決定
平成18年度	事業化（輪島道路）
平成22年度	用地着手（輪島道路）
平成23年度	事業再評価（輪島道路）（指摘事項なし 継続）
平成24年度	事業化（輪島道路（Ⅱ期））
平成25年度	工事着手（輪島道路）

(2) 事業の進捗状況

平成26年度末（予定）

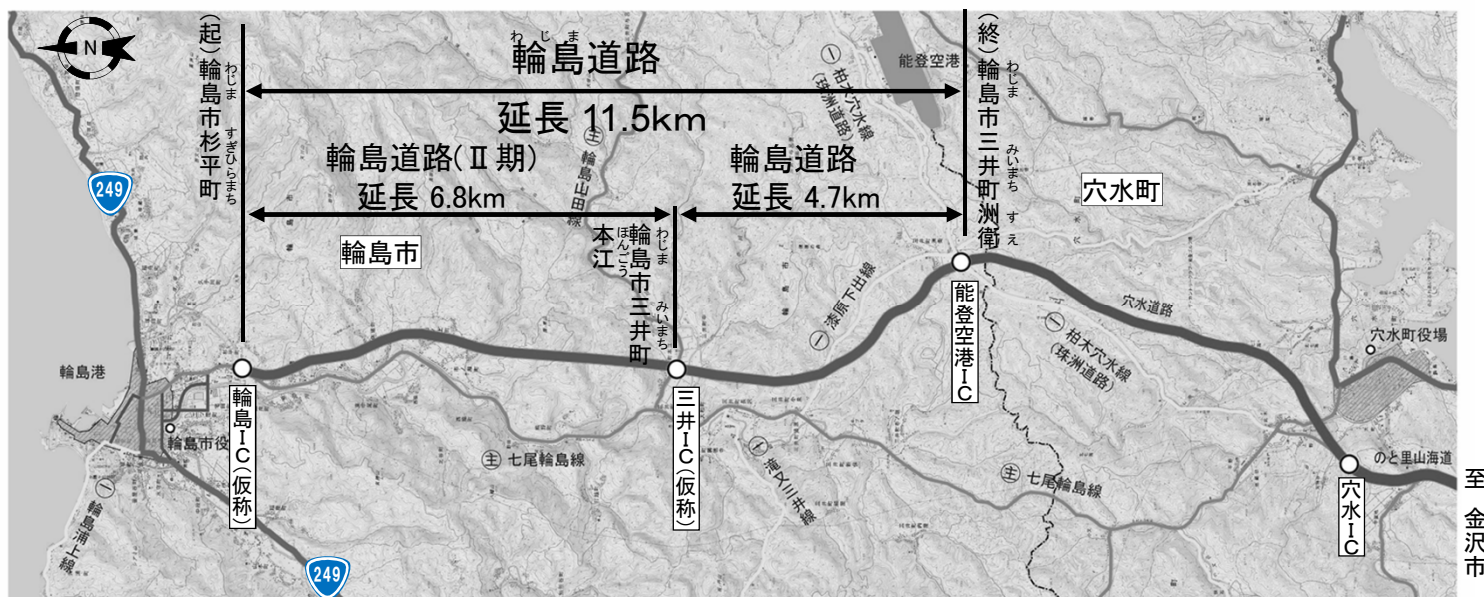
		全体	執行済額	進捗率	残事業費
輪島道路	事業費	150億円	30億円	20%	120億円
	うち用地費・補償費	16億円	12億円	74%	4億円
輪島道路（Ⅱ期）	事業費	240億円	5.5億円	2%	235億円
	うち用地費・補償費	28億円	0億円	0%	28億円
合計	事業費	390億円	35.5億円	9%	355億円
	うち用地費・補償費	44億円	12億円	27%	32億円

(3) 今後の事業展開

※金額は税込み

- 輪島IC(仮称)～三井IC(仮称)間は、来年度の用地着手を目指して設計協議及び用地測量等を進めるとともに、三井IC(仮称)～能登空港IC間については、早期暫定2車線開通を目指して事業を推進。

【平面図】



3. 当該道路の役割・効果

〈3 便益に係る整備効果〉

① 走行時間の短縮（6ページ）

- 輪島道路の整備により、円滑な走行環境が確保され、輪島市と穴水町の走行時間が9分(32%)短縮する。
- 輪島道路の整備により、円滑な走行環境が確保され、損失時間が年間78.8万人時間削減される。
- 輪島道路の整備により、走行時間短縮による便益が年間32.1億円発生する。
- 供用後50年間の総便益は、割引率4%などを考慮すると456億円と算出される。

【走行時間短縮便益】

$$= \text{整備前総走行時間費用} - \text{整備後総走行時間費用}$$

$$= 32.1 \text{ (億円/年)} \times$$

※便益算定上の完成開通年次（H35年度）の便益

$$\text{総走行時間費用} = \sum \sum [\text{路線別車種別交通量(台/日)} \times \text{路線別走行時間(分)}$$

$$\times \text{車種別時間価値原単位(円/台・分)}] \times 365 \text{ (日/年)}$$

割引率
等を考慮

456億円
(事業全体
・残事業)

② 走行経費の減少

- 輪島道路の整備により、走行経費減少による便益が年間4.3億円発生する。
- 供用後50年間の総便益は、割引率4%などを考慮すると61億円と算出される。

【走行経費減少便益】

$$= \text{整備前総走行経費} - \text{整備後総走行経費}$$

$$= 4.3 \text{ (億円/年)} \times$$

※便益算定上の完成開通年次（H35年度）の便益

$$\text{総走行経費} = \sum \sum [\text{路線別車種別交通量(台/日)} \times \text{路線別延長(km)}$$

$$\times \text{車種別走行経費原単位(円/台・km)}] \times 365 \text{ (日/年)}$$

割引率
等を考慮

61億円
(事業全体
・残事業)

③ 交通事故の減少（7ページ）

- 輪島道路の整備により、並行する道路から安全性の高い輪島道路へ交通が転換することから、
(主)七尾輪島線等を含む事業区間では年間約7件の死傷事故件数の削減が期待できる。
- 輪島道路の整備による事故件数の減少による便益が年間2.5億円発生する。
- 供用後50年間の総便益は、割引率4%などを考慮すると36億円と算出される。

【交通事故減少便益】

$$= \text{整備前の交通事故による社会的損失} - \text{整備後の交通事故による社会的損失}$$

$$= 2.5 \text{ (億円/年)} \times$$

※便益算定上の完成開通年次（H35年度）の便益

割引率
等を考慮

36億円
(事業全体
・残事業)

3. 当該道路の役割・効果

<その他の効果>

①第一次緊急輸送道路の強化、迂回発生時の代替路線を形成(8ページ)

- 並行する(主)七尾輪島線は輪島市と穴水町を結ぶ第一次緊急輸送道路であるが、法面崩落等の危険性がある特殊通行規制区間が存在し、周辺道路も過去の地震や大雨等の災害時に寸断するなど、災害時には大幅な迂回が強いられる。
- 輪島道路の整備により特殊通行規制区間を回避するとともに、災害に強い代替路が形成されることでリダンダンシーが確保され、緊急輸送道路ネットワーク機能が強化される。

②救命救急活動の支援及びバス交通の定時性確保(9ページ)

- 輪島地区から最寄りの第三次医療施設は七尾市にある能登総合病院であり、救急搬送に60分を超える搬送割合が高い。
- 平成13年にのと鉄道が廃線となり交通手段は自動車のみ。現在、金沢・穴水等へ1日55便のバスが運行。
- 輪島道路の整備により、能登総合病院への搬送時間が短縮し、60分圏域の拡大や救急搬送時の安全性が確保され迅速な救命救急活動を支援。バス交通においても定時性確保や快適性の向上が期待できる。

③能登空港及び輪島港へのアクセス向上(10ページ)

- 能登空港は平成15年7月の開港以来、地域に根付いた空港として年間約15万人に利用されている。
- 輪島港は「輪島マリンタウン構想」に基づき整備が進められ、防波堤や岸壁整備によりクルーズ船が平成22年より寄港。近年は石川県がクルーズ観光を推進しており、輪島港へは年間4~5隻が寄港している。
- 輪島道路の整備により、輪島市街地(輪島港)から能登空港へのアクセス性が向上するほか、能登空港と輪島港を活用した観光ルートの広域化にも貢献することが期待される。

④主要な観光地へのアクセス向上(11ページ)

- 輪島市は、朝市や輪島温泉郷など全国的にも有名で特色のある観光資源が豊富に恵まれている。
- 輪島道路の整備により、観光地へのアクセス性や回遊性の向上が期待される。

⑤地域連携プロジェクト(石川県長期構想)の支援(12ページ)

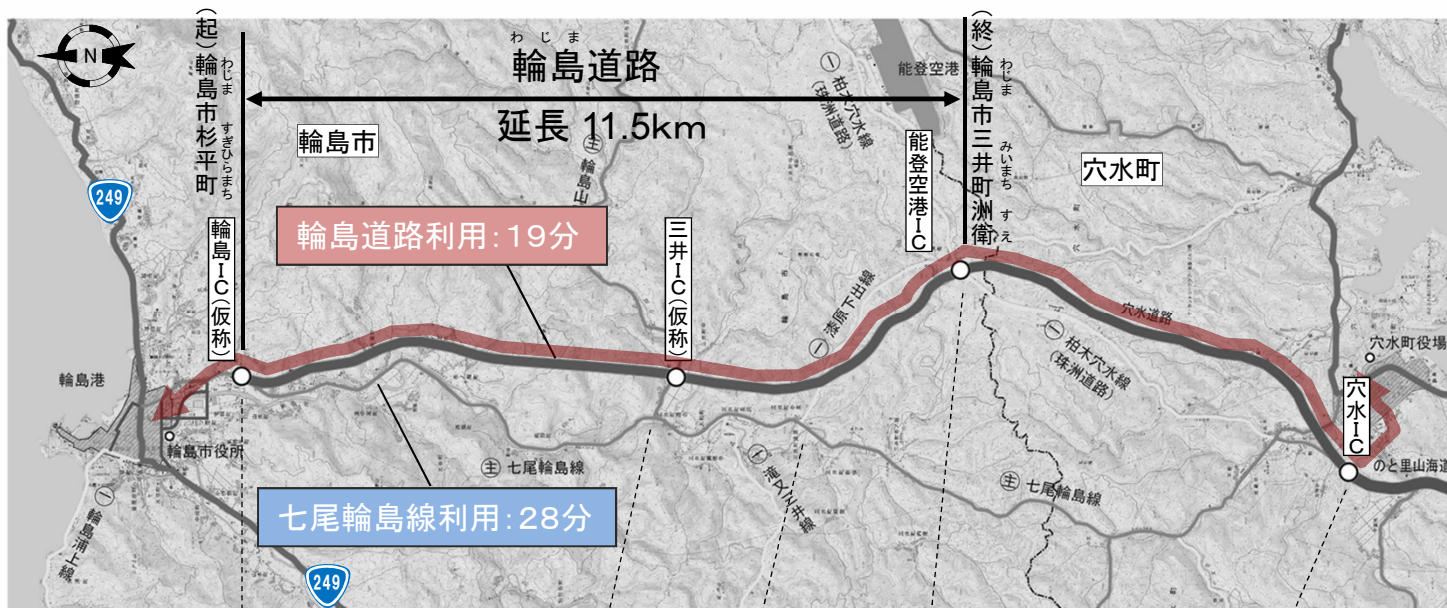
- 輪島道路の整備により、能登半島を縦貫する広域ネットワークのさらなる延伸が図られ、石川県の長期構想「ダブルラダー結いの道」整備構想の骨格となる道路であり金沢・能登2時間圏構想の実現に大きく貢献。

3. 当該道路の役割・効果

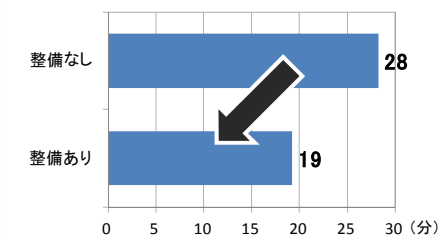
(1) 3便益に係る整備効果

① 走行時間の短縮

- 輪島市と穴水町を結ぶ（主）七尾輪島線は整備済みの他区間と比べて旅行速度が低い（穴水道路と比較し、最大▲44.5km/h、54%減）。
- 輪島道路の整備により、円滑な走行環境が確保され、輪島市街地と穴水町の走行時間が9分（32%）短縮、渋滞損失時間が年間約79万人時間削減される。



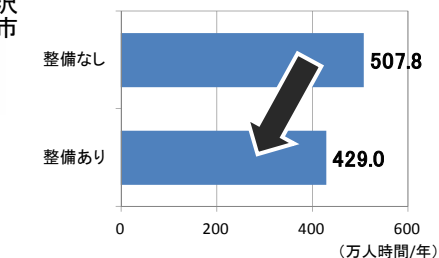
【輪島市街地～穴水町の所要時間】



輪島道路の整備により
28分→19分(9分、32%短縮)

※ 整備なし：H22センサス
整備あり：H42将来推計値を用いて算出

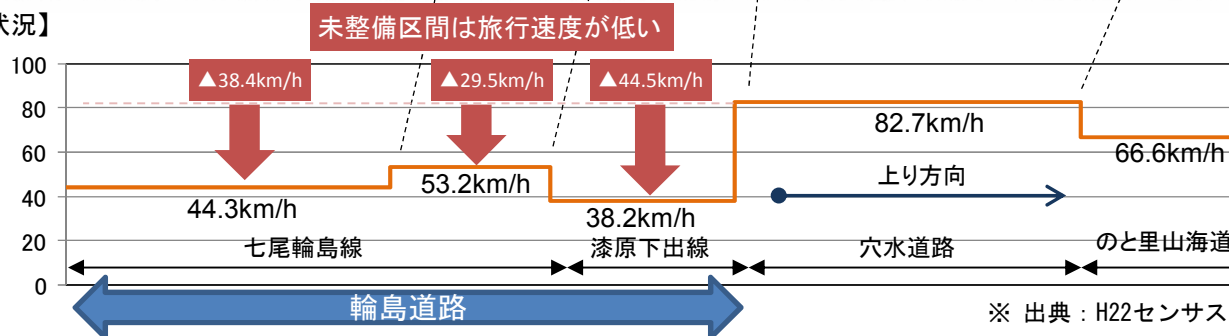
【渋滞損失時間の削減】



輪島道路の整備により
78.8万人時間(16%)削減

※ 出典：H42将来推計値を用いて算出

【旅行速度の状況】



※ 出典：H22センサス

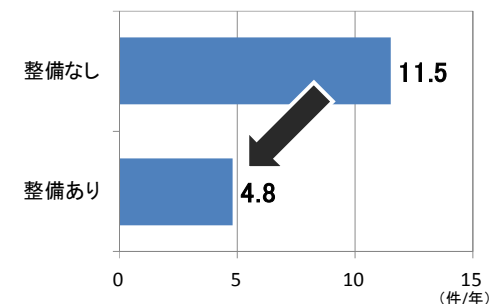
3. 当該道路の役割・効果

② 交通事故件数の減少

- 輪島道路の並行区間では年平均11.5件の死傷事故が発生し、死亡事故もみられる。
- 輪島道路の整備により、並行する道路から安全性の高い輪島道路へ交通が転換することから、(主)七尾輪島線等を含む事業区間では、年間約7件の死傷事故件数の削減が期待できる。



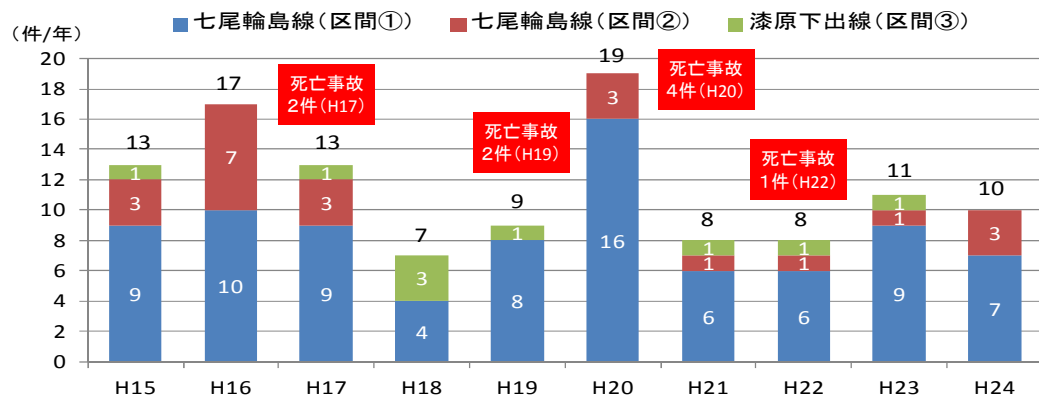
【死傷事故件数の削減】
(現道および事業区間)



※ 整備なし：ITARDA (H21~24)、
整備あり：H42将来推計値を用いて算出

輪島道路の整備により
11.5件→4.8件(6.7件、58%減少)

【並行区間における事故発生件数の推移】



※ 出典：ITARDA (H15~24)



事故の発生状況(写真)

3. 当該道路の役割・効果

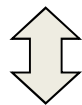
(2) その他の効果

① 第一次緊急輸送道路の強化、迂回発生時の代替路線の形成

- 並行する(主)七尾輪島線は輪島市と穴水町を結ぶ第一次緊急輸送道路であるが、法面崩落等の危険性がある特殊通行規制区間が存在し、周辺道路も過去の地震や大雨等の災害時に寸断するなど、災害時には大幅な迂回が強いられる。
- 輪島道路の整備により特殊通行規制区間を回避するとともに、災害に強い代替路が形成されることでリダンダンシーが確保され、緊急輸送道路ネットワーク機能が強化される。

【輪島市～穴水町間の距離および所要時間】

七尾輪島線が寸断し、想定する迂回路(国道249号経由)
延長=31km、時間=37分



輪島道路整備時(輪島道路経由)
延長=21km、時間=19分

現道が寸断しても、大幅な迂回を回避できる。
(距離:31km→21km、時間:37分→19分)

※所要時間はH22道路交通センサス旅行速度を用いて算出



国道249号の被災状況
(能登半島地震時)



- : 第1次緊急輸送道路
- : 特殊通行規制区間
- ⊗ : H23.9 台風15号による通行止
- ⊗ : H17.6 梅雨前線豪雨による通行止
- ⊗ : H19.3 能登半島地震による通行止等
- ⊗ : その他現道上の災害による通行止等(落石・越水等)



台風豪雨時の越水で七尾輪島線が冠水



※特殊通行規制区間
パトロール等で気象や現地の状況等より判断して危険が予想される場合に、事前規制を実施する区間を指す

3. 当該道路の役割・効果

②救命救急活動の支援及びバス交通の定時性確保

- 輪島地区から最寄りの第三次医療施設は七尾市にある能登総合病院であり、救急搬送に60分を超える搬送割合が高い。
- 平成13年にのと鉄道が廃線となり交通手段は自動車のみ。現在、金沢・穴水等へ1日55便のバスが運行。
- 輪島道路の整備により、能登総合病院への搬送時間が短縮し、60分圏域の拡大や救急搬送時の安全性が確保され迅速な救命救急活動を支援。バス交通においても定時性確保や快適性の向上が期待できる。



【輪島道路並行区間の高速バス運行】

区 間	便 数
輪島⇄穴水	27便/日
輪島⇄和倉	6便/日
輪島⇄金沢	22便/日
合 計	55便/日



観光バスも多数運行(七尾輪島線)

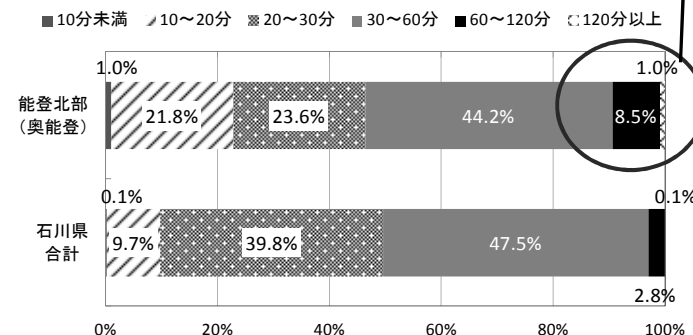
- 60分圏域 (三次医療)
- 輪島道路整備により広がる60分圏域 (三次医療)
- 輪島市域
- のと鉄道 (H13廃線区間)



能登総合病院(能登地域で唯一の第3次医療施設)

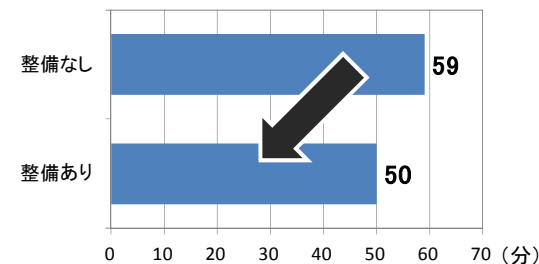
【県内の救急搬送時間実績】

奥能登地域は、石川県全体と比べ60分を超える搬送割合が高い



出典:消防防災年報(H25)

【輪島市街地から能登総合病院への移動時間】



※ 整備なし: H22センサス
整備あり: H42将来推計値を用いて算出

輪島道路の整備により輪島市街地～能登総合病院の所要時間が59分→50分(▲9分、15%短縮)

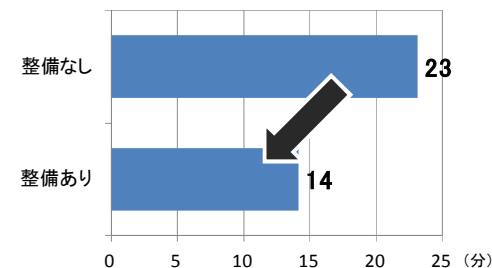
3. 当該道路の役割・効果

③能登空港及び輪島港へのアクセス向上

- 能登空港は平成15年7月の開港以来、地域に根付いた空港として年間約15万人に利用されている。
- 輪島港は「輪島マリンタウン構想」に基づき整備が進められ、防波堤や岸壁整備によりクルーズ船が平成22年より寄港。近年は石川県がクルーズ観光を推進しており、輪島港へは年間4～5隻が寄港している。
- 輪島道路の整備により、輪島市街地(輪島港)から能登空港へのアクセス性が向上するほか、能登空港と輪島港を活用した観光ルートの広域化にも貢献することが期待される。



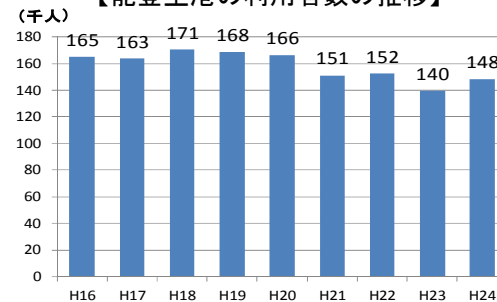
【輪島市街地(輪島港)～能登空港の所要時間】



輪島道路の整備により
23分→14分(9分、39%短縮)

※ 整備なし：H22センサス
整備あり：H42将来推計値を用いて算出

【能登空港の利用者数の推移】



※出典：統計からみた石川の観光(H16～24)

輪島商工会議所
会頭より
(H26.6.24ヒア)

輪島市は、全国の方に認知してもらっているが「遠い」イメージを持たれてしまっている。しかし輪島道路が供用すれば、例えば「輪島は空港からインターチェンジ2つ目にありますよ」と言うことができ、時間短縮の効果以上に観光客に「近い」といったイメージを持っていただける。

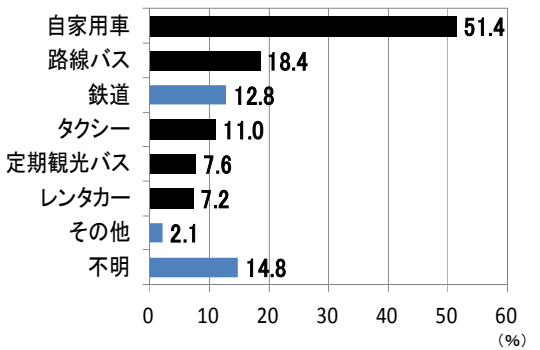
3. 当該道路の役割・効果

④主要な観光地へのアクセス向上

- 輪島市は、朝市や輪島温泉郷など全国的にも有名で特色のある観光資源が豊富に恵まれている。
- 輪島道路の整備により、観光地へのアクセス性や回遊性の向上が期待される。



【県外観光客が県内移動に利用した交通機関】



ほとんどの移動手段が自動車関連

出典: 統計からみた石川県の観光(H24)

輪島道路は、近年伸び悩みとなっている輪島の観光振興に大きく寄与できる道路であり、我々観光業界だけでなく、市民全体が期待している道路である。特に来年は、輪島を舞台にした朝の連続ドラマが放映されることもあり、輪島道路の一刻も早い整備を強く願っている。

輪島市観光協会より
(H26. 6. 24ヒア)

3. 当該道路の役割・効果

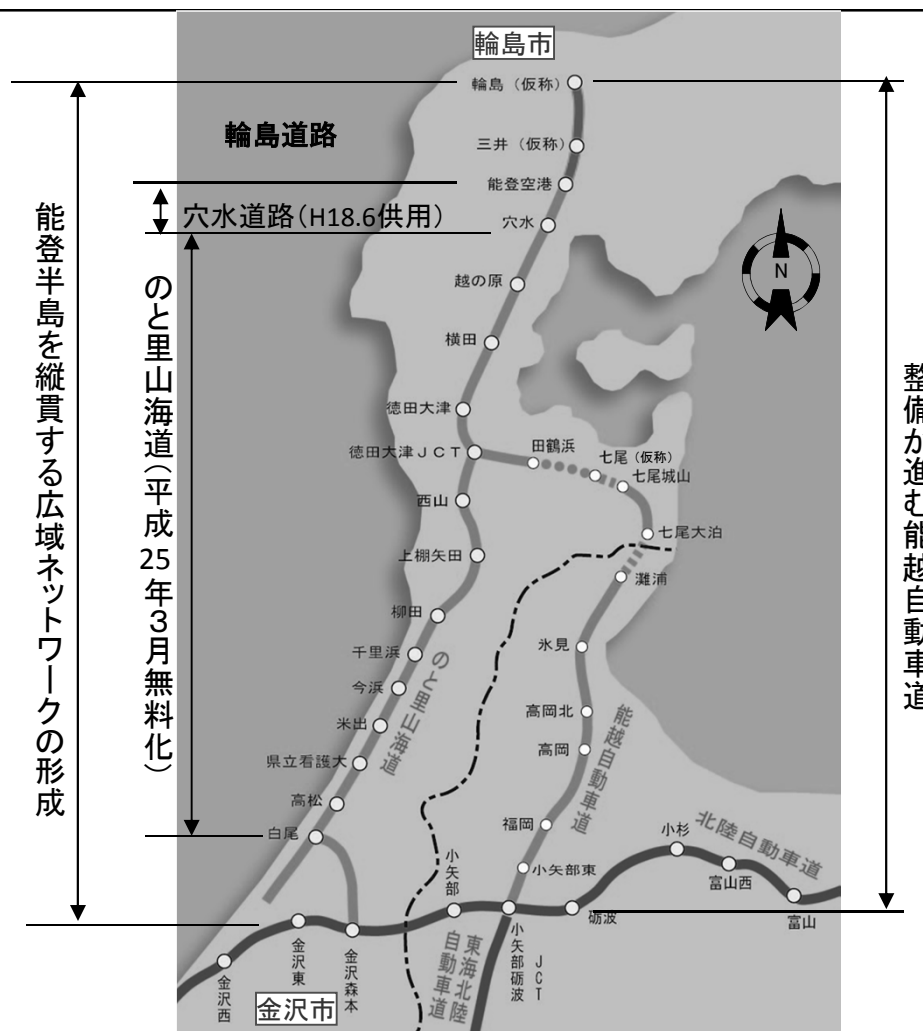
⑤地域連携プロジェクト(石川県長期構想)の支援

○輪島道路の整備により、能登半島を縦貫する広域ネットワークのさらなる延伸が図られ、石川県の長期構想「ダブルラダー結いの道」整備構想の骨格となる道路であり金沢・能登2時間圏構想の実現に大きく貢献。

【「ダブルラダー結いの道」整備構想図】



輪島道路



4. 費用対効果

- ・事業費:390億円
- ・基準年における費用及び便益の現在価値（現在価値算出のための割引率：4%、基準年次：平成26年度、検討年数：50年）
- ・将来道路網：現在の一般県道以上の道路網を基本に、平成26年4月時点で事業化済みの計画路線を対象にした道路網である。

<費用>

基準年における現在価値		事業費	維持管理費	
輪島道路	事業全体	166億円	129億円	37億円
	残事業	135億円	98億円	37億円
(輪島二期道路)	事業全体	221億円	184億円	37億円
	残事業	216億円	178億円	37億円

【参考】

一体評価	事業全体	386億円	312億円	73億円
	残事業	351億円	277億円	73億円

<3便益>

基準年における現在価値		走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	
輪島道路	事業全体	427億円	357億円	49億円	21億円
	残事業	427億円	357億円	49億円	21億円
(輪島二期道路)	事業全体	376億円	313億円	40億円	23億円
	残事業	376億円	313億円	40億円	23億円

一体評価	事業全体	553億円	456億円	61億円	36億円
	残事業	553億円 <th>456億円</th> <th>61億円</th> <th>36億円</th>	456億円	61億円	36億円

<3便益による費用便益比>

費用便益比(B/C)		
輪島道路	事業全体	427億円/166億円 =2.6
	残事業	427億円/135億円 =3.2
(輪島二期道路)	事業全体	376億円/221億円 =1.7
	残事業	376億円/216億円 =1.7

一体評価	事業全体	553億円/386億円 =1.4
	残事業	553億円/351億円 =1.6

- 注)1.便益・費用については、基準年における現在価値後の値である。
 2.費用及び便益額は整数止めとする。
 3.費用及び便益額の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。
 4.便益の算定については、「将来交通需要推計手法の改善について【中間とりまとめ】」に示された第二段階の改善を反映している。

<その他の効果>

輪島道路の役割	具体的内容
①第一次緊急輸送道路の強化、代替路線の形成	<ul style="list-style-type: none"> ●石川県の第一次緊急輸送道路としての位置付けがあり、災害に強い道路ネットワークの形成が図られる。 ●第一次緊急輸送道路である(主)七尾輪島線が通行止めになった時の代替路が形成されることでリダンダンシーが確保される。
②医療・バス交通などの日常生活に関連する利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ●能登唯一の第三次医療機関(能登総合病院)へのアクセス性が向上する。 ●輪島市と金沢市や能登空港などを連絡するバスの定時性確保や安全性・快適性の向上が期待できる。
③能登空港・輪島港へのアクセス向上	<ul style="list-style-type: none"> ●輪島道路の整備により、能登空港や輪島港へのアクセス性向上が期待される。
④主要な観光地へのアクセス向上	<ul style="list-style-type: none"> ●輪島朝市や輪島温泉郷などの観光地へのアクセスが強化されるとともに、和倉温泉などを結ぶ観光周遊ルートが強化される。
⑤地域連携プロジェクトの支援	<ul style="list-style-type: none"> ●石川県の長期構想「ダブルラダー結いの道」整備構想の骨格となる道路であり金沢・能登2時間圏構想の実現に大きく貢献。

5. 対応方針（原案）

(1) 事業の必要性等に関する視点

- 輪島道路の並行区間である(主)七尾輪島線は、特殊通行規制区間が存在し、災害等により全面通行止めとなった場合は大幅な迂回を余儀なくされる。
- 輪島道路の整備により特殊通行規制区間を回避し、災害に強い代替路の形成によってリダンダンシーが確保され、第一次緊急輸送道路としての信頼性が向上。
- 併せて、第三次医療施設への搬送時間の短縮による救命救急活動支援や、能登空港、輪島港、能登地域を中心とした主要観光地等へのアクセス性の向上など、輪島道路の整備効果は多岐にわたっている。
- 3便益の費用便益比は、輪島道路の事業全体で2.6、残事業で3.2、輪島道路(Ⅱ期)は事業全体及び残事業ともに1.7となる。

(2) 事業進捗の見込みの視点

- 当該事業は、高規格幹線道路を形成する一般国道の自動車専用道路として整備するものであり、用地買収は約3割、事業は約1割が完了。
- 輪島IC(仮称)～三井IC(仮称)間は、来年度の用地着手を目指して設計協議及び用地測量等を進めるとともに、三井IC(仮称)～能登空港IC間については、早期暫定2車線開通を目指して事業を推進。

(3) コスト縮減からの視点

- 施工にあたっては、新技術の活用や建設発生土の有効活用等、コスト縮減に努力。

(4) 対応方針（原案）

対応方針(原案) 事業継続
(理由)

- 輪島道路は、高規格幹線道路「能越自動車道」延長約100kmのうち、輪島市杉平町～同市三井町洲衛間の延長約11.5kmを結ぶ道路であり、広域ネットワークの一部を構成するなど重要な役割を担っている。
- 輪島道路の整備により、高規格幹線道路網及び災害に強いネットワークの形成、アクセス時間短縮による第三次医療施設へのアクセス向上や、観光活性化の支援など、多様な効果が見込まれるため事業を継続する。

客觀的評價指標抽出資料

【一般国道（高規格B）】

● 事業採択時の前提条件を確認するための指標

前提条件	(1) 事業の効率性	■ 便益が費用を上回っていること
------	------------	------------------

● 事業の効果や必要性を評価するための指標

I. 活力	(1) 円滑なモビリティの確保	● 並行区間等の年間渋滞損失時間(人・時間)及び削減率
		□ 並行区間等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される
		■ 並行区間等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する又は新たなバス路線が期待できる
		□ 新幹線駅へのアクセス向上が見込まれる
		■ 拠点空港(会社管理空港、国管理空港、特定地方管理空港)、地方管理空港もしくはその他の空港・共用空港へのアクセス向上が見込まれる
	(2) 物流効率化の支援	□ 国際拠点港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が見込まれる
		□ 農林水産業を主体とする地域から大都市圏への農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる
	(3) 都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である
		□ 三大都市圏の環状道路を形成する
		□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり
	(4) 国土・地域ネットワークの構築	□ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する
		□ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する
		□ 日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる
	(5) 個性ある地域の形成	□ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する
		■ IC等からのアクセスが向上する主要な観光地が存在する
		□ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である

II. 暮らし	安全で安心できる くらしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる
III. 安全	(1) 安全な生活環境の 確保	□ 並行区間等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在 する場合において、交通量の減少により、当該区間の安全性の向上 が期待できる
	(2) 災害への備え	■ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク 計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震 防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送 道路」という)として位置づけあり
		■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間 の代替路線を形成する
		□ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する
	□ 並行区間等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通 障害区間の代替路を形成する	
IV. 環境	(1) 地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量
	(2) 生活環境の 改善・保全	● 並行区間等における自動車からのNO2排出削減率
		● 並行区間等における自動車からのSPM排出削減率
		□ 並行区間等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、 新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある
	□ その他、環境や景観上の効果が期待される	
V. その他	他のプロジェクト との関係	■ 他機関との連携プログラムに位置づけられている
	その他	□ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない 効果が期待される

※○印の指標は定量的な記述により効果を確認する。

□印の指標については定性的又は定量的な記述により効果の有無を確認する。

※●、■は該当する指標を示す。

○再評価実施時点における評価指標該当項目の内容

前提条件

(1) 事業の効率性

- ・ 輪島道路 $B/C=2.6$ (事業全体の3便益による費用対効果)
 $B/C=3.2$ (残事業の3便益による費用対効果)
- ・ 輪島道路(Ⅱ期) $B/C=1.7$ (事業全体の3便益による費用対効果)
 $B/C=1.7$ (残事業の3便益による費用対効果)

【参考】

- ・ 一体評価 $B/C=1.4$ (事業全体の3便益による費用対効果)
 $B/C=1.6$ (残事業の3便益による費用対効果)

I. 活力

(1) 円滑なモビリティの確保

- ・ 費用便益分析対象エリアの損失時間削減率=約16%
(整備なし 507.8万人時間/年 → 整備あり 429.0万人時間/年) 【P6で詳述】
- ・ 輪島市と金沢市や能登空港などを連携するバスの定時性確保や安全性・快適性の向上が期待できる。 【P9で詳述】
- ・ 輪島市街地と能登空港へのアクセス性向上が期待できる。
(整備なし 23分 → 整備あり 14分) 【P10で詳述】

(5) 個性ある地域の形成

- ・ 輪島朝市などの豊富な観光資源へのアクセス性向上や集客向上が期待できる。 【P11で詳述】

II. 暮らし

安全で安心できる暮らしの確保

- ・ 第3次医療施設である能登総合病院へのアクセス時間が短縮。
(整備なし 59分 → 整備あり 50分) 【P9で詳述】

III. 安全

(2) 災害への備え

- ・ 「石川県地域防災計画」の第一次緊急輸送道路ネットワークとして位置付けがあるが、災害が多発している区間である。輪島道路の整備により緊急時の代替路が形成されることでリダンダンシーが形成され、緊急輸送道路ネットワーク機能の強化が図られる。 【P8で詳述】

IV. 環境

(1) 地球環境の保全

- ・ 費用便益分析対象エリアのCO₂排出量の削減量=3331.8t-co₂/年
(整備なし 124,501.4t-co₂/年 → 整備あり 121,169.6t-co₂/年)

(2) 生活環境の改善・保全

- ・ 費用便益分析対象エリアのNO_x排出量の削減量=8.9t-NO_x/年
(整備なし 329.4t-NO_x/年 → 整備あり 320.5t-NO_x/年)
- ・ 費用便益分析対象エリアのSPM排出量の削減量=1.1t-SPM/年
(整備なし 31.21t-SPM/年 → 整備あり 30.1t-SPM/年)

V. その他

(1) 他のプロジェクトとの関連

- ・ 石川県の長期構想「ダブルラダー結いの道」整備構想の骨格となる道路であり金沢・能登2時間圏構想の実現に大きく貢献。 【P12で詳述】

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
国道470号 (能越自動車道)	輪島道路	L=4.7km	高規格B	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
9,000	2	北陸地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成26年度		
単純合計	140億円	104億円	245億円
うち残事業分	112億円	104億円	216億円
基準年における 現在価値 (C)	129億円	37億円	166億円
うち残事業分	98億円	37億円	135億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成26年度			
供用年	平成32年度			
単年便益 (初年便益)	23億円	3.1億円	1.4億円	28億円
基準年における 現在価値 (B)	357億円	49億円	21億円	427億円
うち残事業分	357億円	49億円	21億円	427億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	2.6
経済的純現在価値（事業全体）	262億円
経済的内部収益率（事業全体）	11.6%
費用便益比（残事業）	3.2
経済的純現在価値（残事業）	292億円
経済的内部収益率（残事業）	15.6%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（残事業を対象）

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	9,000	±10%	2.3~2.8
事業費	140億円	±10%	2.4~2.7
事業期間	14年	±20%	2.5~2.7

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	9,000	±10%	2.8~3.5
事業費	112億円	±10%	2.9~3.4
事業期間	5年	±20%	3.1~3.2

交通状況の変化

様式-3①

事業名 輪島道路

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [輪島道路] :4.7km	交通量 ^{※1}	[台/日]		9,000	
	走行時間 ^{※2}	[分]		4	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]		5.65	
②主な周辺道路 ^{※4}	①(主)七尾輪島線 :9.6km	交通量	[台/日]	3,800	800
		走行時間	[分]	17	15
		走行時間費用	[億円/年]	12.51	1.96
	②(主)輪島富来線 :11.5km	交通量	[台/日]	700	400
		走行時間	[分]	18	18
		走行時間費用	[億円/年]	2.21	1.18
	③(主)輪島山田線 :10.9km	交通量	[台/日]	2,300	600
		走行時間	[分]	19	18
		走行時間費用	[億円/年]	8.49	2.64
	④(一)漆原下出線 :3.6km	交通量	[台/日]	5,000	400
		走行時間	[分]	9	6
		走行時間費用	[億円/年]	7.30	0.57
③その他道路合計 L=905.1km	走行時間費用	[億円/年]	413.71	410.79	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 945.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	444.22	422.79	21.43

※1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

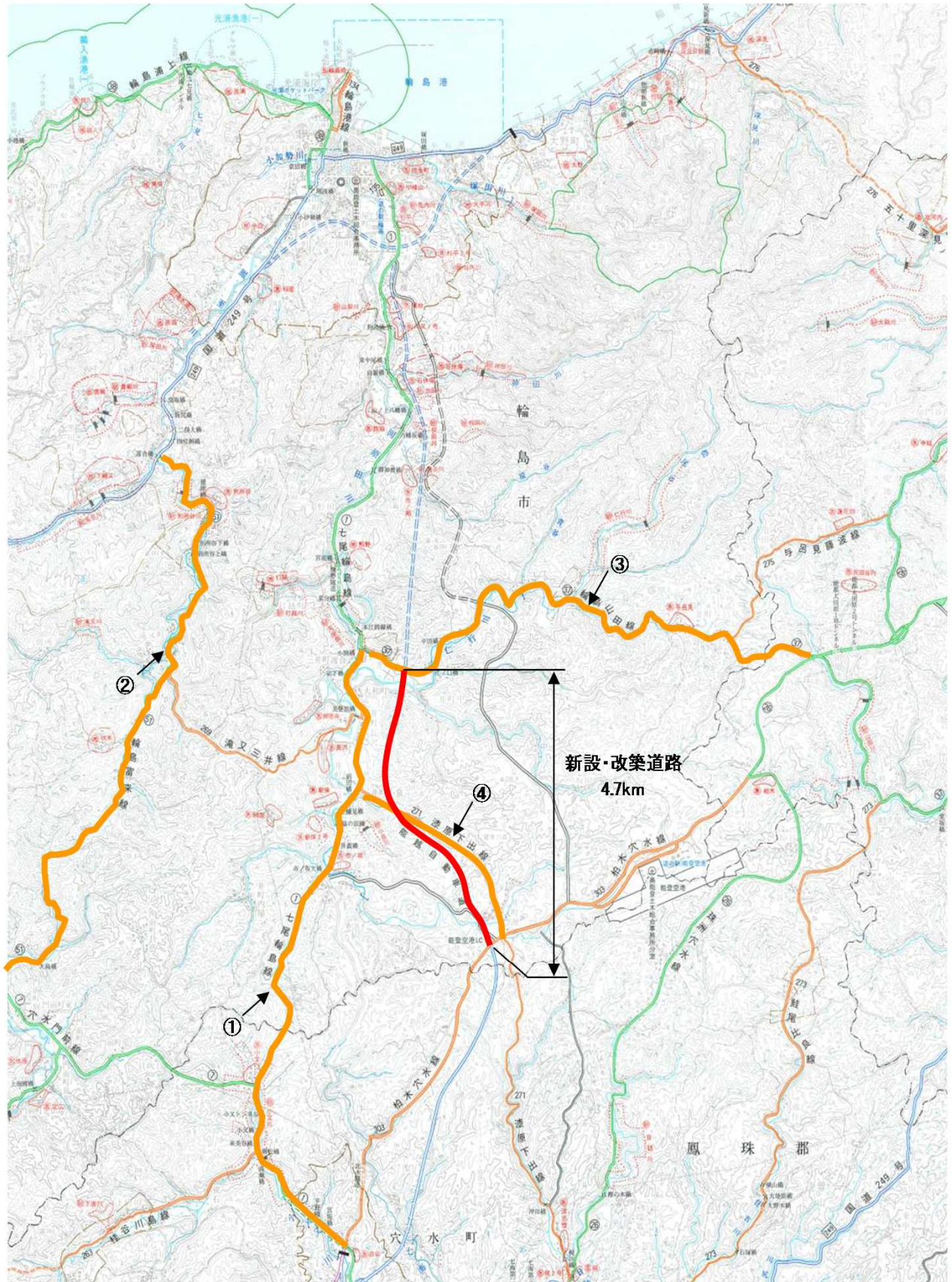
※2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。

※5 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名： 輪島道路

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年
	社会的割引率	4%
	基準年次	H26年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42年)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17年センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
	その他()	<input type="checkbox"/>
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	その他(最終配分でQ ₀ を超える場合、実態に即した速度で補正)	<input checked="" type="checkbox"/>

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
考慮する		<input checked="" type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数(年あたり) 採用した冬期日数の考え方を記載	(87)日	
		降雪が最初に観測された日から最後に観測された日までの日数(87日)及び降雪日数(33日)を考慮		
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
通常期と冬期の速度比(降雪時18%低下、降雪時以外10%低下)を考慮				
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

事業名： 輪島道路

(4)

項目		チェック欄	
費用 の 算 定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>
		その他(概略事業計画による値を採用)	<input checked="" type="checkbox"/>
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
		北陸地方整備局管内直轄路線の実績値から設定	
雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input checked="" type="checkbox"/>	
その他			
4. その他			

費用の現在価値算定表（事業全体）

				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.48	4.7	2.26	
年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-14年目	H 18	1.3686	98.7	0.48	0.60	0.00	0.00
-13年目	H 19	1.3159	97.6	3.52	4.34	0.00	0.00
-12年目	H 20	1.2653	96.8	0.23	0.27	0.00	0.00
-11年目	H 21	1.2167	95.6	0.30	0.35	0.00	0.00
-10年目	H 22	1.1699	93.7	1.84	2.12	0.00	0.00
-9年目	H 23	1.1249	92.1	2.24	2.51	0.00	0.00
-8年目	H 24	1.0816	91.3	1.95	2.11	0.00	0.00
-7年目	H 25	1.0400	91.3	5.86	6.09	0.00	0.00
-6年目	H 26	1.0000	91.3	12.18	12.18	0.00	0.00
-5年目	H 27	0.9615	91.3	24.19	23.25	0.00	0.00
-4年目	H 28	0.9246	91.3	26.59	24.59	0.00	0.00
-3年目	H 29	0.8890	91.3	20.56	18.28	0.00	0.00
-2年目	H 30	0.8548	91.3	17.13	14.64	0.00	0.00
-1年目	H 31	0.8219	91.3	23.25	19.11	0.00	0.00
供用開始年次	H 32	0.7903	91.3	0.00	0.00	2.09	1.65
1年目	H 33	0.7599	91.3	0.00	0.00	2.09	1.59
2年目	H 34	0.7307	91.3	0.00	0.00	2.09	1.53
3年目	H 35	0.7026	91.3	0.00	0.00	2.09	1.47
4年目	H 36	0.6756	91.3	0.00	0.00	2.09	1.41
5年目	H 37	0.6496	91.3	0.00	0.00	2.09	1.36
6年目	H 38	0.6246	91.3	0.00	0.00	2.09	1.30
7年目	H 39	0.6006	91.3	0.00	0.00	2.09	1.25
8年目	H 40	0.5775	91.3	0.00	0.00	2.09	1.21
9年目	H 41	0.5553	91.3	0.00	0.00	2.09	1.16
10年目	H 42	0.5339	91.3	0.00	0.00	2.09	1.12
11年目	H 43	0.5134	91.3	0.00	0.00	2.09	1.07
12年目	H 44	0.4936	91.3	0.00	0.00	2.09	1.03
13年目	H 45	0.4746	91.3	0.00	0.00	2.09	0.99
14年目	H 46	0.4564	91.3	0.00	0.00	2.09	0.95
15年目	H 47	0.4388	91.3	0.00	0.00	2.09	0.92
16年目	H 48	0.4220	91.3	0.00	0.00	2.09	0.88
17年目	H 49	0.4057	91.3	0.00	0.00	2.09	0.85
18年目	H 50	0.3901	91.3	0.00	0.00	2.09	0.81
19年目	H 51	0.3751	91.3	0.00	0.00	2.09	0.78
20年目	H 52	0.3607	91.3	0.00	0.00	2.09	0.75
21年目	H 53	0.3468	91.3	0.00	0.00	2.09	0.72
22年目	H 54	0.3335	91.3	0.00	0.00	2.09	0.70
23年目	H 55	0.3207	91.3	0.00	0.00	2.09	0.67
24年目	H 56	0.3083	91.3	0.00	0.00	2.09	0.64
25年目	H 57	0.2965	91.3	0.00	0.00	2.09	0.62
26年目	H 58	0.2851	91.3	0.00	0.00	2.09	0.60
27年目	H 59	0.2741	91.3	0.00	0.00	2.09	0.57
28年目	H 60	0.2636	91.3	0.00	0.00	2.09	0.55
29年目	H 61	0.2534	91.3	0.00	0.00	2.09	0.53
30年目	H 62	0.2437	91.3	0.00	0.00	2.09	0.51
31年目	H 63	0.2343	91.3	0.00	0.00	2.09	0.49
32年目	H 64	0.2253	91.3	0.00	0.00	2.09	0.47
33年目	H 65	0.2166	91.3	0.00	0.00	2.09	0.45
34年目	H 66	0.2083	91.3	0.00	0.00	2.09	0.44
35年目	H 67	0.2003	91.3	0.00	0.00	2.09	0.42
36年目	H 68	0.1926	91.3	0.00	0.00	2.09	0.40
37年目	H 69	0.1852	91.3	0.00	0.00	2.09	0.39
38年目	H 70	0.1780	91.3	0.00	0.00	2.09	0.37
39年目	H 71	0.1712	91.3	0.00	0.00	2.09	0.36
40年目	H 72	0.1646	91.3	0.00	0.00	2.09	0.34
41年目	H 73	0.1583	91.3	0.00	0.00	2.09	0.33
42年目	H 74	0.1522	91.3	0.00	0.00	2.09	0.32
43年目	H 75	0.1463	91.3	0.00	0.00	2.09	0.31
44年目	H 76	0.1407	91.3	0.00	0.00	2.09	0.29
45年目	H 77	0.1353	91.3	0.00	0.00	2.09	0.28
46年目	H 78	0.1301	91.3	0.00	0.00	2.09	0.27
47年目	H 79	0.1251	91.3	0.00	0.00	2.09	0.26
48年目	H 80	0.1203	91.3	0.00	0.00	2.09	0.25
49年目	H 81	0.1157	91.3	-15.20	-1.76	2.09	0.24
合計				125.13	128.68	104.44	36.87
単純事業費計				140.33		104.44	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表（残事業）

箇所名：国道470号（能越自動車道）輪島道路				維持管理費の単純単価の算出（消費税相当額含む）			
				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.48	4.7	2.26	
年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
－5年目	H 27	0.9615	91.3	24.19	23.25	0.00	0.00
－4年目	H 28	0.9246	91.3	26.59	24.59	0.00	0.00
－3年目	H 29	0.8890	91.3	20.56	18.28	0.00	0.00
－2年目	H 30	0.8548	91.3	17.13	14.64	0.00	0.00
－1年目	H 31	0.8219	91.3	23.25	19.11	0.00	0.00
供用開始年次	H 32	0.7903	91.3	0.00	0.00	2.09	1.65
1年目	H 33	0.7599	91.3	0.00	0.00	2.09	1.59
2年目	H 34	0.7307	91.3	0.00	0.00	2.09	1.53
3年目	H 35	0.7026	91.3	0.00	0.00	2.09	1.47
4年目	H 36	0.6756	91.3	0.00	0.00	2.09	1.41
5年目	H 37	0.6496	91.3	0.00	0.00	2.09	1.36
6年目	H 38	0.6246	91.3	0.00	0.00	2.09	1.30
7年目	H 39	0.6006	91.3	0.00	0.00	2.09	1.25
8年目	H 40	0.5775	91.3	0.00	0.00	2.09	1.21
9年目	H 41	0.5553	91.3	0.00	0.00	2.09	1.16
10年目	H 42	0.5339	91.3	0.00	0.00	2.09	1.12
11年目	H 43	0.5134	91.3	0.00	0.00	2.09	1.07
12年目	H 44	0.4936	91.3	0.00	0.00	2.09	1.03
13年目	H 45	0.4746	91.3	0.00	0.00	2.09	0.99
14年目	H 46	0.4564	91.3	0.00	0.00	2.09	0.95
15年目	H 47	0.4388	91.3	0.00	0.00	2.09	0.92
16年目	H 48	0.4220	91.3	0.00	0.00	2.09	0.88
17年目	H 49	0.4057	91.3	0.00	0.00	2.09	0.85
18年目	H 50	0.3901	91.3	0.00	0.00	2.09	0.81
19年目	H 51	0.3751	91.3	0.00	0.00	2.09	0.78
20年目	H 52	0.3607	91.3	0.00	0.00	2.09	0.75
21年目	H 53	0.3468	91.3	0.00	0.00	2.09	0.72
22年目	H 54	0.3335	91.3	0.00	0.00	2.09	0.70
23年目	H 55	0.3207	91.3	0.00	0.00	2.09	0.67
24年目	H 56	0.3083	91.3	0.00	0.00	2.09	0.64
25年目	H 57	0.2965	91.3	0.00	0.00	2.09	0.62
26年目	H 58	0.2851	91.3	0.00	0.00	2.09	0.60
27年目	H 59	0.2741	91.3	0.00	0.00	2.09	0.57
28年目	H 60	0.2636	91.3	0.00	0.00	2.09	0.55
29年目	H 61	0.2534	91.3	0.00	0.00	2.09	0.53
30年目	H 62	0.2437	91.3	0.00	0.00	2.09	0.51
31年目	H 63	0.2343	91.3	0.00	0.00	2.09	0.49
32年目	H 64	0.2253	91.3	0.00	0.00	2.09	0.47
33年目	H 65	0.2166	91.3	0.00	0.00	2.09	0.45
34年目	H 66	0.2083	91.3	0.00	0.00	2.09	0.44
35年目	H 67	0.2003	91.3	0.00	0.00	2.09	0.42
36年目	H 68	0.1926	91.3	0.00	0.00	2.09	0.40
37年目	H 69	0.1852	91.3	0.00	0.00	2.09	0.39
38年目	H 70	0.1780	91.3	0.00	0.00	2.09	0.37
39年目	H 71	0.1712	91.3	0.00	0.00	2.09	0.36
40年目	H 72	0.1646	91.3	0.00	0.00	2.09	0.34
41年目	H 73	0.1583	91.3	0.00	0.00	2.09	0.33
42年目	H 74	0.1522	91.3	0.00	0.00	2.09	0.32
43年目	H 75	0.1463	91.3	0.00	0.00	2.09	0.31
44年目	H 76	0.1407	91.3	0.00	0.00	2.09	0.29
45年目	H 77	0.1353	91.3	0.00	0.00	2.09	0.28
46年目	H 78	0.1301	91.3	0.00	0.00	2.09	0.27
47年目	H 79	0.1251	91.3	0.00	0.00	2.09	0.26
48年目	H 80	0.1203	91.3	0.00	0.00	2.09	0.25
49年目	H 81	0.1157	91.3	-15.20	-1.76	2.09	0.24
合計				96.52	98.11	104.44	36.87
単純事業費計				111.72		104.44	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表 (事業全体・残事業) 箇所名: 国道470号(能越自動車道) 輪島道路

Table with columns for Year (年度), GDP, Interest Rate (割引率), and various benefit categories (乗用車, 小型貨物, 普通貨物). It includes sub-sections for '走行時間短縮便益' and '走行経費減少便益', and a final '合計' (Total) row.

路線名	箇所名	車線数	延長
輪島道路	三井IC(仮称)～能登空港IC	2	4.7km

■事業費内訳【事業全体】

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				11,224	
	改良費				4,612	
		土工	m ³	2,029,297	1,385	
		軟弱地盤改良工	m ³	458,156	1,402	
		法面工	m ²	165,109	201	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	429	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m	1,405	118	
		函渠工	式	1	643	
		排水工	m	32,042	322	
		中央分離帯工	m	5,568	85	
		雑工	式	1	26	機能補償道路(1,112m)・水路(103m)等
	橋梁費				4,608	
		100m以上	m	653	3,821	3橋
		100m未満	m	156	715	2橋
		跨道橋	m	51	71	1橋
	IC・JCT費				701	
		IC	箇所	2	701	ダイヤモンド型(1)、平面Y型(1)
	舗装費				827	
		車道舗装	m ²	82,884	827	
	付帯施設費				477	
		交通管理施設工	式	1	477	標識工、防護柵工、道路照明等
②	用地及補償費				1,640	
	用地費		m ²	1,882,851	1,520	
		宅地	m ²	10,682	107	
		田畑	m ²	316,339	791	
		山林・原野	m ²	1,555,830	622	
	補償費		式	1	120	
③	間接経費		式	1	2,136	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				15,000	

路線名	箇所名	車線数	延長
輪島道路	三井IC～能登空港IC	2	4.7km

■事業費内訳【残事業】

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				10,509	
	改良費				3,925	
		土工	m ³	1,590,286	1,085	
		軟弱地盤改良工	m ³	359,040	1,099	
		法面工	m ²	129,390	158	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	429	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m	1,310	114	
		函渠工	式	1	616	
		排水工	m	31,405	314	
		中央分離帯工	m	5,568	85	
		雑工	式	1	26	機能補償道路(1,112m)・水路(103m)等
	橋梁費				4,608	
		100m以上	m	653	3,821	3橋
		100m未満	m	156	715	2橋
		跨道橋	m	51	71	1橋
	IC・JCT費				672	
		IC	箇所	2	672	ダイヤモンド型(1)、平面Y型(1)
	舗装費				827	
		車道舗装	m ²	82,884	827	
	付帯施設費				477	
		交通管理施設工	式	1	477	標識工、防護柵工、道路照明等
②	用地及補償費				433	
	用地費		m ²	386,725	313	
		宅地	m ²	8,207	82	
		田畑	m ²	37,630	94	
		山林・原野	m ²	340,888	136	
	補償費		式	1	120	
③	間接経費		式	1	1,087	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				12,029	

路線名	箇所名	車線数	延長
国道470号 (能越自動車道)	輪島道路	2	4.7km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円/年)	備考
維持費	km	4.7	44	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	182	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			226	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
国道470号 (能越自動車道)	輪島道路 (Ⅱ期)	L=6.8km	高規格B	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
9,000	2	北陸地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成26年度		
単純合計	223億円	118億円	341億円
うち残事業分	218億円	118億円	336億円
基準年における 現在価値(C)	184億円	37億円	221億円
うち残事業分	178億円	37億円	216億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成26年度			
供用年	平成35年度			
単年便益 (初年便益)	22.8億円	2.9億円	1.68億円	27億円
基準年における 現在価値(B)	313億円	40億円	23.1億円	376億円
うち残事業分	313億円	40億円	23.1億円	376億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.7
経済的純現在価値（事業全体）	155億円
経済的内部収益率（事業全体）	7.7%
費用便益比（残事業）	1.7
経済的純現在価値（残事業）	161億円
経済的内部収益率（残事業）	8.1%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（残事業を対象）

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	9,000	±10%	1.6~1.8
事業費	223億円	±10%	1.6~1.9
事業期間	11年	±20%	1.6~1.8

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	9,000	±10%	1.6~1.9
事業費	218億円	±10%	1.6~1.9
事業期間	8年	±20%	1.7~1.9

交通状況の変化

様式-3①

事業名 輪島道路（Ⅱ期）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [輪島道路] :6.8km	交通量 ^{※1}	[台/日]		9,000	
	走行時間 ^{※2}	[分]		5	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]		8.18	
②主な周辺道路 ^{※4}	①(主)七尾輪島線 :7.2km	交通量	8,300	500	
		走行時間	17	11	
		走行時間費用	24.56	0.99	
	②(主)輪島山田線 :1.0km	交通量	6,700	200	
		走行時間	2	2	
		走行時間費用	2.72	0.06	
③その他道路合計 L=930.4km	走行時間費用	[億円/年]	417.21	413.56	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 945.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	444.49	422.79	21.70

※1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

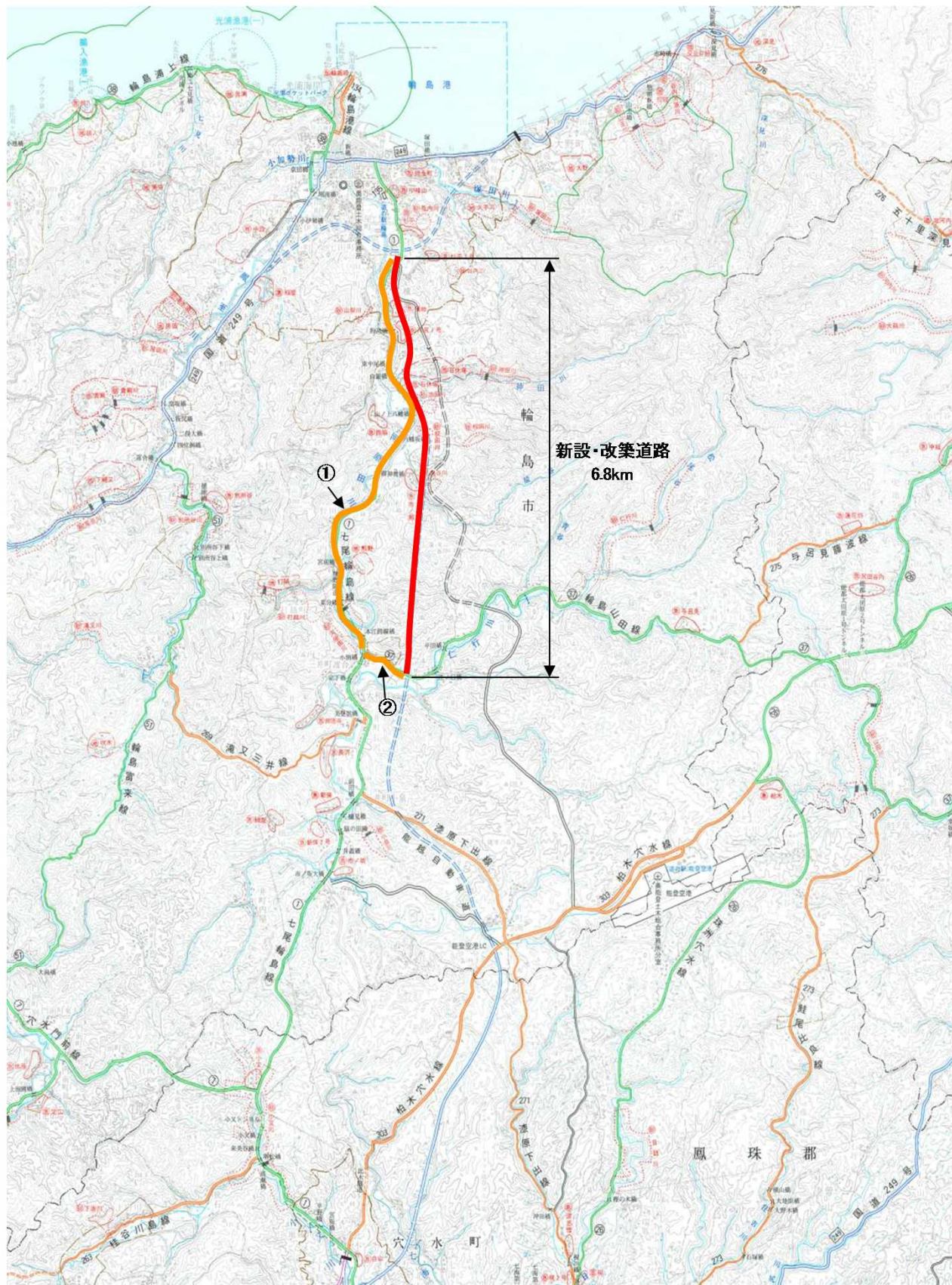
※2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名： 輪島道路(Ⅱ期)

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	H26年	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計 <input checked="" type="checkbox"/> (H42年)	
		複数時点での推計 <input type="checkbox"/>	
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
		整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		いずれかのみ推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17年センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
		その他()	<input type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
		有	<input type="checkbox"/>
有の場合のみ		考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
	その他()		
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
	その他(最終配分でQ ₀ を超える場合、実態に即した速度で補正)	<input checked="" type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
考慮する		<input checked="" type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数(年あたり) 採用した冬期日数の考え方を記載	(87) 日	
		降雪が最初に観測された日から最後に観測された日までの日数(87日)及び降雪日数(33日)を考慮		
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
通常期と冬期の速度比(降雪時18%低下、降雪時以外10%低下)を考慮				
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

事業名： 輪島道路(Ⅱ期)

(4)

項目		チェック欄	
費用 の 算 定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>
		その他(概略事業計画による値を採用)	<input checked="" type="checkbox"/>
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 北陸地方整備局管内直轄路線の実績値から設定	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input checked="" type="checkbox"/>
その他			
4. その他			

費用の現在価値算定表（事業全体）

箇所名：国道470号(能越自動車道)輪島道路(Ⅱ期)				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)				
				単価(億円)		延長(km)		単純単価(億円)
				0.38		6.8		2.56
年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)		
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価	
-11年目	H 24	1.0816	91.3	0.95	1.03	0.00	0.00	
-10年目	H 25	1.0400	91.3	1.90	1.98	0.00	0.00	
-9年目	H 26	1.0000	91.3	2.31	2.31	0.00	0.00	
-8年目	H 27	0.9615	91.3	3.74	3.60	0.00	0.00	
-7年目	H 28	0.9246	91.3	17.26	15.96	0.00	0.00	
-6年目	H 29	0.8890	91.3	18.86	16.77	0.00	0.00	
-5年目	H 30	0.8548	91.3	41.30	35.30	0.00	0.00	
-4年目	H 31	0.8219	91.3	42.50	34.93	0.00	0.00	
-3年目	H 32	0.7903	91.3	46.57	36.81	0.00	0.00	
-2年目	H 33	0.7599	91.3	35.28	26.81	0.00	0.00	
-1年目	H 34	0.7307	91.3	12.04	8.80	0.00	0.00	
供用開始年次	H 35	0.7026	91.3	0.00	0.00	2.37	1.66	
1年目	H 36	0.6756	91.3	0.00	0.00	2.37	1.60	
2年目	H 37	0.6496	91.3	0.00	0.00	2.37	1.54	
3年目	H 38	0.6246	91.3	0.00	0.00	2.37	1.48	
4年目	H 39	0.6006	91.3	0.00	0.00	2.37	1.42	
5年目	H 40	0.5775	91.3	0.00	0.00	2.37	1.37	
6年目	H 41	0.5553	91.3	0.00	0.00	2.37	1.31	
7年目	H 42	0.5339	91.3	0.00	0.00	2.37	1.26	
8年目	H 43	0.5134	91.3	0.00	0.00	2.37	1.22	
9年目	H 44	0.4936	91.3	0.00	0.00	2.37	1.17	
10年目	H 45	0.4746	91.3	0.00	0.00	2.37	1.12	
11年目	H 46	0.4564	91.3	0.00	0.00	2.37	1.08	
12年目	H 47	0.4388	91.3	0.00	0.00	2.37	1.04	
13年目	H 48	0.4220	91.3	0.00	0.00	2.37	1.00	
14年目	H 49	0.4057	91.3	0.00	0.00	2.37	0.96	
15年目	H 50	0.3901	91.3	0.00	0.00	2.37	0.92	
16年目	H 51	0.3751	91.3	0.00	0.00	2.37	0.89	
17年目	H 52	0.3607	91.3	0.00	0.00	2.37	0.85	
18年目	H 53	0.3468	91.3	0.00	0.00	2.37	0.82	
19年目	H 54	0.3335	91.3	0.00	0.00	2.37	0.79	
20年目	H 55	0.3207	91.3	0.00	0.00	2.37	0.76	
21年目	H 56	0.3083	91.3	0.00	0.00	2.37	0.73	
22年目	H 57	0.2965	91.3	0.00	0.00	2.37	0.70	
23年目	H 58	0.2851	91.3	0.00	0.00	2.37	0.67	
24年目	H 59	0.2741	91.3	0.00	0.00	2.37	0.65	
25年目	H 60	0.2636	91.3	0.00	0.00	2.37	0.62	
26年目	H 61	0.2534	91.3	0.00	0.00	2.37	0.60	
27年目	H 62	0.2437	91.3	0.00	0.00	2.37	0.58	
28年目	H 63	0.2343	91.3	0.00	0.00	2.37	0.55	
29年目	H 64	0.2253	91.3	0.00	0.00	2.37	0.53	
30年目	H 65	0.2166	91.3	0.00	0.00	2.37	0.51	
31年目	H 66	0.2083	91.3	0.00	0.00	2.37	0.49	
32年目	H 67	0.2003	91.3	0.00	0.00	2.37	0.47	
33年目	H 68	0.1926	91.3	0.00	0.00	2.37	0.46	
34年目	H 69	0.1852	91.3	0.00	0.00	2.37	0.44	
35年目	H 70	0.1780	91.3	0.00	0.00	2.37	0.42	
36年目	H 71	0.1712	91.3	0.00	0.00	2.37	0.41	
37年目	H 72	0.1646	91.3	0.00	0.00	2.37	0.39	
38年目	H 73	0.1583	91.3	0.00	0.00	2.37	0.37	
39年目	H 74	0.1522	91.3	0.00	0.00	2.37	0.36	
40年目	H 75	0.1463	91.3	0.00	0.00	2.37	0.35	
41年目	H 76	0.1407	91.3	0.00	0.00	2.37	0.33	
42年目	H 77	0.1353	91.3	0.00	0.00	2.37	0.32	
43年目	H 78	0.1301	91.3	0.00	0.00	2.37	0.31	
44年目	H 79	0.1251	91.3	0.00	0.00	2.37	0.30	
45年目	H 80	0.1203	91.3	0.00	0.00	2.37	0.28	
46年目	H 81	0.1157	91.3	0.00	0.00	2.37	0.27	
47年目	H 82	0.1112	91.3	0.00	0.00	2.37	0.26	
48年目	H 83	0.1069	91.3	0.00	0.00	2.37	0.25	
49年目	H 84	0.1028	91.3	-5.65	-0.58	2.37	0.24	
合計				217.07	183.72	118.37	37.12	
単純事業費計				222.72		118.37		

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表（残事業）

				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
箇所名: 国道470号(能越自動車道)輪島道路(Ⅱ期)				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.38	6.8	2.56	
年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-8年目	H 27	0.9615	91.3	3.74	3.60	0.00	0.00
-7年目	H 28	0.9246	91.3	17.26	15.96	0.00	0.00
-6年目	H 29	0.8890	91.3	18.86	16.77	0.00	0.00
-5年目	H 30	0.8548	91.3	41.30	35.30	0.00	0.00
-4年目	H 31	0.8219	91.3	42.50	34.93	0.00	0.00
-3年目	H 32	0.7903	91.3	46.57	36.81	0.00	0.00
-2年目	H 33	0.7599	91.3	35.28	26.81	0.00	0.00
-1年目	H 34	0.7307	91.3	12.04	8.80	0.00	0.00
供用開始年次	H 35	0.7026	91.3	0.00	0.00	2.37	1.66
1年目	H 36	0.6756	91.3	0.00	0.00	2.37	1.60
2年目	H 37	0.6496	91.3	0.00	0.00	2.37	1.54
3年目	H 38	0.6246	91.3	0.00	0.00	2.37	1.48
4年目	H 39	0.6006	91.3	0.00	0.00	2.37	1.42
5年目	H 40	0.5775	91.3	0.00	0.00	2.37	1.37
6年目	H 41	0.5553	91.3	0.00	0.00	2.37	1.31
7年目	H 42	0.5339	91.3	0.00	0.00	2.37	1.26
8年目	H 43	0.5134	91.3	0.00	0.00	2.37	1.22
9年目	H 44	0.4936	91.3	0.00	0.00	2.37	1.17
10年目	H 45	0.4746	91.3	0.00	0.00	2.37	1.12
11年目	H 46	0.4564	91.3	0.00	0.00	2.37	1.08
12年目	H 47	0.4388	91.3	0.00	0.00	2.37	1.04
13年目	H 48	0.4220	91.3	0.00	0.00	2.37	1.00
14年目	H 49	0.4057	91.3	0.00	0.00	2.37	0.96
15年目	H 50	0.3901	91.3	0.00	0.00	2.37	0.92
16年目	H 51	0.3751	91.3	0.00	0.00	2.37	0.89
17年目	H 52	0.3607	91.3	0.00	0.00	2.37	0.85
18年目	H 53	0.3468	91.3	0.00	0.00	2.37	0.82
19年目	H 54	0.3335	91.3	0.00	0.00	2.37	0.79
20年目	H 55	0.3207	91.3	0.00	0.00	2.37	0.76
21年目	H 56	0.3083	91.3	0.00	0.00	2.37	0.73
22年目	H 57	0.2965	91.3	0.00	0.00	2.37	0.70
23年目	H 58	0.2851	91.3	0.00	0.00	2.37	0.67
24年目	H 59	0.2741	91.3	0.00	0.00	2.37	0.65
25年目	H 60	0.2636	91.3	0.00	0.00	2.37	0.62
26年目	H 61	0.2534	91.3	0.00	0.00	2.37	0.60
27年目	H 62	0.2437	91.3	0.00	0.00	2.37	0.58
28年目	H 63	0.2343	91.3	0.00	0.00	2.37	0.55
29年目	H 64	0.2253	91.3	0.00	0.00	2.37	0.53
30年目	H 65	0.2166	91.3	0.00	0.00	2.37	0.51
31年目	H 66	0.2083	91.3	0.00	0.00	2.37	0.49
32年目	H 67	0.2003	91.3	0.00	0.00	2.37	0.47
33年目	H 68	0.1926	91.3	0.00	0.00	2.37	0.46
34年目	H 69	0.1852	91.3	0.00	0.00	2.37	0.44
35年目	H 70	0.1780	91.3	0.00	0.00	2.37	0.42
36年目	H 71	0.1712	91.3	0.00	0.00	2.37	0.41
37年目	H 72	0.1646	91.3	0.00	0.00	2.37	0.39
38年目	H 73	0.1583	91.3	0.00	0.00	2.37	0.37
39年目	H 74	0.1522	91.3	0.00	0.00	2.37	0.36
40年目	H 75	0.1463	91.3	0.00	0.00	2.37	0.35
41年目	H 76	0.1407	91.3	0.00	0.00	2.37	0.33
42年目	H 77	0.1353	91.3	0.00	0.00	2.37	0.32
43年目	H 78	0.1301	91.3	0.00	0.00	2.37	0.31
44年目	H 79	0.1251	91.3	0.00	0.00	2.37	0.30
45年目	H 80	0.1203	91.3	0.00	0.00	2.37	0.28
46年目	H 81	0.1157	91.3	0.00	0.00	2.37	0.27
47年目	H 82	0.1112	91.3	0.00	0.00	2.37	0.26
48年目	H 83	0.1069	91.3	0.00	0.00	2.37	0.25
49年目	H 84	0.1028	91.3	-5.65	-0.58	2.37	0.24
合計				211.90	178.40	118.37	37.12
単純事業費計				217.55		118.37	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表 (事業全体・残事業) 箇所名: 国道470号(能越自動車道) 輪島道路(二期)

Table with multiple columns including '年次 (基準年)', 'GDP', '割引率', 'GDP', '現在価値 (1) x (A)', '現在価値 (A) x (2)', '事故減少便益 (億円)', '合計 (億円)', '現在価値', '割引率4%', '乗用車', '小型貨物', '普通貨物', '全車', '乗用車', '小型貨物', '普通貨物', '乗用車', '小型貨物', '普通貨物', '乗用車', '小型貨物', '普通貨物', '事故減少便益 (億円)', '合計 (億円)'.

路線名	箇所名	車線数	延長
輪島道路(Ⅱ期)	輪島IC(仮称)～三井IC(仮称)	暫定2車線	6.8km

■事業費内訳【事業全体】

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				17,802	
	改良費				4,308	
		土工	m ³	1,868,491	1,224	
		軟弱地盤改良工	m ³	459,185	1,111	
		法面工	m ²	148,708	1,213	切土法面、盛土法面
		函渠工	m	1	528	
		排水工	m	8,237	137	
		中央分離帯工	m	3,997	96	
	橋梁費				1,917	
		100m以上	m	185	1,358	1橋
		100m未満	m	90	399	1橋
		跨道橋	m	64	160	1橋
	トンネル費				10,038	
		NATM	m	2,500	10,038	
	IC・JCT費				133	
		IC	箇所	2	133	平面交差点、平面Y型
	舗装費				610	
		車道舗装	m ²	53,960	610	
	付帯施設費				447	
		交通管理施設工	式	1	447	標識工、防護柵工、道路照明等
	雑工				349	
		雑工	式	1	349	
②	用地及補償費				2,781	
	用地費		m ²	296,525	565	
		宅地	m ²	27,591	276	
		田畑	m ²	86,474	216	
		山林・原野	m ²	182,460	73	
	補償費		式	1	2,216	
③	間接経費		式	1	3,417	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				24,000	

路線名	箇所名	車線数	延長
輪島道路(Ⅱ期)	輪島IC～三井IC	暫定2車線	6.8km

■事業費内訳【残事業】

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				17,801	
	改良費				4,308	
		土工	m ³	1,868,491	1,223	
		軟弱地盤改良工	m ³	459,185	1,111	
		法面工	m ²	148,708	1,213	切土法面、盛土法面
		函渠工	m	1	528	
		排水工	m	8,237	137	
		中央分離帯工	m	3,997	96	
	橋梁費				1,917	
		100m以上	m	185	1,358	1橋
		100m未満	m	90	399	1橋
		跨道橋	m	64	160	1橋
	トンネル費				10,038	
		NATM	m	2,500	10,038	
	IC・JCT費				133	
		IC	箇所	2	133	平面交差点、平面Y型
	舗装費				610	
		車道舗装	m ²	53,960	610	
	付帯施設費				447	
		交通管理施設工	式	1	447	標識工、防護柵工、道路照明等
	雑工				349	
		雑工	式	1	349	
②	用地及補償費				2,781	
	用地費		m ²	296,525	565	
		宅地	m ²	27,591	276	
		田畑	m ²	86,474	216	
		山林・原野	m ²	182,460	73	
	補償費		式	1	2,216	
③	間接経費		式	1	2,868	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				23,450	

路線名	箇所名	車線数	延長
国道470号 (能越自動車道)	輪島道路(Ⅱ期)	2	6.8km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円/年)	備考
維持費	km	6.8	53	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	203	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			256	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
国道470号 (能越自動車道)	輪島道路、 輪島道路(Ⅱ期)	L=11.5km	高規格B	B P

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
9,000	2	北陸地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成26年度		
単純合計	363億円	216億円	579億円
うち残事業分	329億円	216億円	545億円
基準年における 現在価値(C)	312億円	73億円	386億円
うち残事業分	277億円	73億円	351億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成26年度			
供用年	平成32年度、平成35年度			
単年便益 (初年便益)	9.5億円	1.4億円	0.84億円	12億円
基準年における 現在価値(B)	456億円	61億円	36億円	553億円
うち残事業分	456億円	61億円	36億円	553億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.4
経済的純現在価値（事業全体）	168億円
経済的内部収益率（事業全体）	6.5%
費用便益比（残事業）	1.6
経済的純現在価値（残事業）	203億円
経済的内部収益率（残事業）	7.5%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	9,000	±10%	1.3~1.6
事業費	363億円	±10%	1.3~1.5
事業期間	17年	±20%	1.3~1.5

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	9,000	±10%	1.4~1.7
事業費	329億円	±10%	1.5~1.7
事業期間	8年	±20%	1.5~1.7

交通状況の変化

様式-3①

事業名 輪島道路、輪島道路(Ⅱ期)

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [輪島道路] :11.5km	交通量 ^{※1}	[台/日]		9,000	
	走行時間 ^{※2}	[分]		9	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]		13.84	
②主な周辺道路 ^{※4}	①(主)七尾輪島線 :16.8km	交通量	[台/日]	5,400	700
		走行時間	[分]	34	26
		走行時間費用	[億円/年]	32.96	2.95
	②(主)輪島富来線 :11.5km	交通量	[台/日]	1,300	400
		走行時間	[分]	18	18
		走行時間費用	[億円/年]	3.91	1.18
	③(主)輪島山田線 :10.9km	交通量	[台/日]	700	600
		走行時間	[分]	18	18
		走行時間費用	[億円/年]	2.85	2.64
	④(一)漆原下出線 :3.6km	交通量	[台/日]	5,500	400
		走行時間	[分]	8	6
		走行時間費用	[億円/年]	8.08	0.57
③その他道路合計 L=891.1km	走行時間費用	[億円/年]	405.56	401.61	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 945.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	453.36	422.79	30.56

※1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

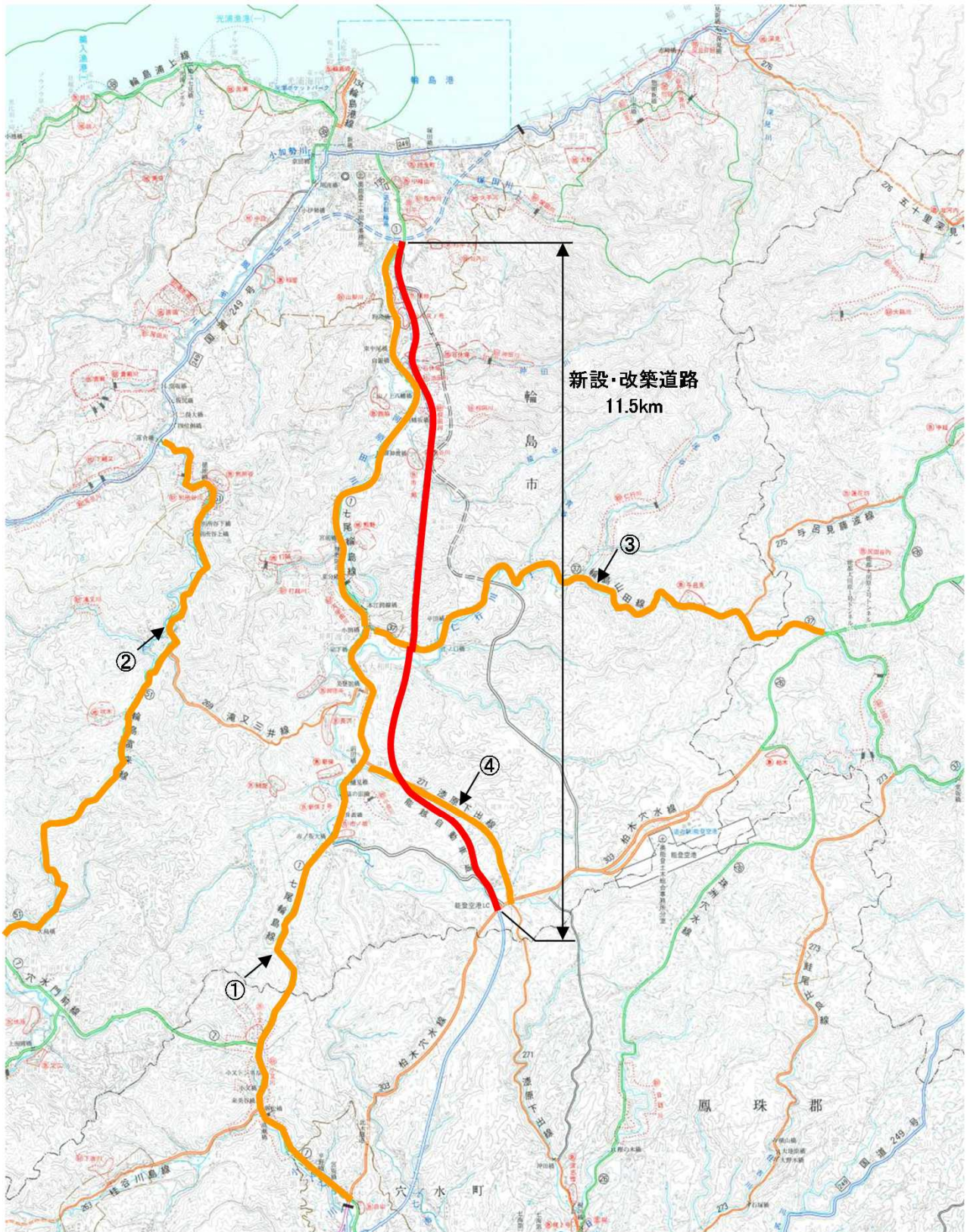
※2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名： 輪島道路、輪島道路(Ⅱ期)

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	H26年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42年)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いた OD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17年センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の 考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日	
配分交通量の 推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
その他()			
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
その他()		<input type="checkbox"/>	
速度設定の 考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>	
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>	
	その他(最終配分でQ ₀ を超える場合、実態に即した速度で補正)	<input checked="" type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
	とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載		<input type="checkbox"/>	
	冬期交通の影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
考慮する		<input checked="" type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数(年あたり) 採用した冬期日数の考え方を記載	(87) 日	
		降雪が最初に観測された日から最後に観測された日までの日数(87日)及び降雪日数(33日)を考慮 冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載 通常期と冬期の速度比(降雪時18%低下、降雪時以外10%低下)を考慮		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

事業名：輪島道路、輪島道路(Ⅱ期)

(4)

項目		チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>
		その他(概略事業計画による値を採用)	<input checked="" type="checkbox"/>
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
		北陸地方整備局管内直轄路線の実績値から設定	
雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input checked="" type="checkbox"/>	
その他			
4. その他			
.....			
.....			
.....			

費用の現在価値算定表(事業全体)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 国道470号(能越自動車道)輪島道路、輪島道路(Ⅱ期)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
				0.42	11.5	4.81	
-14年目	H 18	1.3686	98.7	0.48	0.60	0.00	0.00
-13年目	H 19	1.3159	97.6	3.52	4.34	0.00	0.00
-12年目	H 20	1.2653	96.8	0.23	0.27	0.00	0.00
-11年目	H 21	1.2167	95.6	0.30	0.35	0.00	0.00
-10年目	H 22	1.1699	93.7	1.84	2.12	0.00	0.00
-9年目	H 23	1.1249	92.1	2.24	2.51	0.00	0.00
-8年目	H 24	1.0816	91.3	2.90	3.14	0.00	0.00
-7年目	H 25	1.0400	91.3	7.76	8.07	0.00	0.00
-6年目	H 26	1.0000	91.3	14.49	14.49	0.00	0.00
-5年目	H 27	0.9615	91.3	27.93	26.85	0.00	0.00
-4年目	H 28	0.9246	91.3	43.85	40.55	0.00	0.00
-3年目	H 29	0.8890	91.3	39.42	35.05	0.00	0.00
-2年目	H 30	0.8548	91.3	58.43	49.94	0.00	0.00
-1年目	H 31	0.8219	91.3	65.75	54.04	0.00	0.00
供用開始年次	H 32	0.7903	91.3	46.57	36.81	2.09	1.65
1年目	H 33	0.7599	91.3	35.28	26.81	2.09	1.59
2年目	H 34	0.7307	91.3	12.04	8.80	2.09	1.53
3年目	H 35	0.7026	91.3	0.00	0.00	4.45	3.13
4年目	H 36	0.6756	91.3	0.00	0.00	4.45	3.01
5年目	H 37	0.6496	91.3	0.00	0.00	4.45	2.89
6年目	H 38	0.6246	91.3	0.00	0.00	4.45	2.78
7年目	H 39	0.6006	91.3	0.00	0.00	4.45	2.67
8年目	H 40	0.5775	91.3	0.00	0.00	4.45	2.57
9年目	H 41	0.5553	91.3	0.00	0.00	4.45	2.47
10年目	H 42	0.5339	91.3	0.00	0.00	4.45	2.38
11年目	H 43	0.5134	91.3	0.00	0.00	4.45	2.29
12年目	H 44	0.4936	91.3	0.00	0.00	4.45	2.20
13年目	H 45	0.4746	91.3	0.00	0.00	4.45	2.11
14年目	H 46	0.4564	91.3	0.00	0.00	4.45	2.03
15年目	H 47	0.4388	91.3	0.00	0.00	4.45	1.95
16年目	H 48	0.4220	91.3	0.00	0.00	4.45	1.88
17年目	H 49	0.4057	91.3	0.00	0.00	4.45	1.81
18年目	H 50	0.3901	91.3	0.00	0.00	4.45	1.74
19年目	H 51	0.3751	91.3	0.00	0.00	4.45	1.67
20年目	H 52	0.3607	91.3	0.00	0.00	4.45	1.61
21年目	H 53	0.3468	91.3	0.00	0.00	4.45	1.54
22年目	H 54	0.3335	91.3	0.00	0.00	4.45	1.49
23年目	H 55	0.3207	91.3	0.00	0.00	4.45	1.43
24年目	H 56	0.3083	91.3	0.00	0.00	4.45	1.37
25年目	H 57	0.2965	91.3	0.00	0.00	4.45	1.32
26年目	H 58	0.2851	91.3	0.00	0.00	4.45	1.27
27年目	H 59	0.2741	91.3	0.00	0.00	4.45	1.22
28年目	H 60	0.2636	91.3	0.00	0.00	4.45	1.17
29年目	H 61	0.2534	91.3	0.00	0.00	4.45	1.13
30年目	H 62	0.2437	91.3	0.00	0.00	4.45	1.09
31年目	H 63	0.2343	91.3	0.00	0.00	4.45	1.04
32年目	H 64	0.2253	91.3	0.00	0.00	4.45	1.00
33年目	H 65	0.2166	91.3	0.00	0.00	4.45	0.96
34年目	H 66	0.2083	91.3	0.00	0.00	4.45	0.93
35年目	H 67	0.2003	91.3	0.00	0.00	4.45	0.89
36年目	H 68	0.1926	91.3	0.00	0.00	4.45	0.86
37年目	H 69	0.1852	91.3	0.00	0.00	4.45	0.82
38年目	H 70	0.1780	91.3	0.00	0.00	4.45	0.79
39年目	H 71	0.1712	91.3	0.00	0.00	4.45	0.76
40年目	H 72	0.1646	91.3	0.00	0.00	4.45	0.73
41年目	H 73	0.1583	91.3	0.00	0.00	4.45	0.71
42年目	H 74	0.1522	91.3	0.00	0.00	4.45	0.68
43年目	H 75	0.1463	91.3	0.00	0.00	4.45	0.65
44年目	H 76	0.1407	91.3	0.00	0.00	4.45	0.63
45年目	H 77	0.1353	91.3	0.00	0.00	4.45	0.60
46年目	H 78	0.1301	91.3	0.00	0.00	4.45	0.58
47年目	H 79	0.1251	91.3	0.00	0.00	4.45	0.56
48年目	H 80	0.1203	91.3	0.00	0.00	4.45	0.54
49年目	H 81	0.1157	91.3	-20.85	-2.41	4.45	0.52
合計				342.20	312.33	215.60	73.24
単純事業費計				363.05		215.60	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 国道470号(能越自動車道)輪島道路、輪島道路(Ⅱ期)

年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
				0.42		11.5	4.81
-5年目	H 27	0.9615	91.3	27.93	26.85	0.00	0.00
-4年目	H 28	0.9246	91.3	43.85	40.55	0.00	0.00
-3年目	H 29	0.8890	91.3	39.42	35.05	0.00	0.00
-2年目	H 30	0.8548	91.3	58.43	49.94	0.00	0.00
-1年目	H 31	0.8219	91.3	65.75	54.04	0.00	0.00
供用開始年次	H 32	0.7903	91.3	46.57	36.81	2.09	1.65
1年目	H 33	0.7599	91.3	35.28	26.81	2.09	1.59
2年目	H 34	0.7307	91.3	12.04	8.80	2.09	1.53
3年目	H 35	0.7026	91.3	0.00	0.00	4.45	3.13
4年目	H 36	0.6756	91.3	0.00	0.00	4.45	3.01
5年目	H 37	0.6496	91.3	0.00	0.00	4.45	2.89
6年目	H 38	0.6246	91.3	0.00	0.00	4.45	2.78
7年目	H 39	0.6006	91.3	0.00	0.00	4.45	2.67
8年目	H 40	0.5775	91.3	0.00	0.00	4.45	2.57
9年目	H 41	0.5553	91.3	0.00	0.00	4.45	2.47
10年目	H 42	0.5339	91.3	0.00	0.00	4.45	2.38
11年目	H 43	0.5134	91.3	0.00	0.00	4.45	2.29
12年目	H 44	0.4936	91.3	0.00	0.00	4.45	2.20
13年目	H 45	0.4746	91.3	0.00	0.00	4.45	2.11
14年目	H 46	0.4564	91.3	0.00	0.00	4.45	2.03
15年目	H 47	0.4388	91.3	0.00	0.00	4.45	1.95
16年目	H 48	0.4220	91.3	0.00	0.00	4.45	1.88
17年目	H 49	0.4057	91.3	0.00	0.00	4.45	1.81
18年目	H 50	0.3901	91.3	0.00	0.00	4.45	1.74
19年目	H 51	0.3751	91.3	0.00	0.00	4.45	1.67
20年目	H 52	0.3607	91.3	0.00	0.00	4.45	1.61
21年目	H 53	0.3468	91.3	0.00	0.00	4.45	1.54
22年目	H 54	0.3335	91.3	0.00	0.00	4.45	1.49
23年目	H 55	0.3207	91.3	0.00	0.00	4.45	1.43
24年目	H 56	0.3083	91.3	0.00	0.00	4.45	1.37
25年目	H 57	0.2965	91.3	0.00	0.00	4.45	1.32
26年目	H 58	0.2851	91.3	0.00	0.00	4.45	1.27
27年目	H 59	0.2741	91.3	0.00	0.00	4.45	1.22
28年目	H 60	0.2636	91.3	0.00	0.00	4.45	1.17
29年目	H 61	0.2534	91.3	0.00	0.00	4.45	1.13
30年目	H 62	0.2437	91.3	0.00	0.00	4.45	1.09
31年目	H 63	0.2343	91.3	0.00	0.00	4.45	1.04
32年目	H 64	0.2253	91.3	0.00	0.00	4.45	1.00
33年目	H 65	0.2166	91.3	0.00	0.00	4.45	0.96
34年目	H 66	0.2083	91.3	0.00	0.00	4.45	0.93
35年目	H 67	0.2003	91.3	0.00	0.00	4.45	0.89
36年目	H 68	0.1926	91.3	0.00	0.00	4.45	0.86
37年目	H 69	0.1852	91.3	0.00	0.00	4.45	0.82
38年目	H 70	0.1780	91.3	0.00	0.00	4.45	0.79
39年目	H 71	0.1712	91.3	0.00	0.00	4.45	0.76
40年目	H 72	0.1646	91.3	0.00	0.00	4.45	0.73
41年目	H 73	0.1583	91.3	0.00	0.00	4.45	0.71
42年目	H 74	0.1522	91.3	0.00	0.00	4.45	0.68
43年目	H 75	0.1463	91.3	0.00	0.00	4.45	0.65
44年目	H 76	0.1407	91.3	0.00	0.00	4.45	0.63
45年目	H 77	0.1353	91.3	0.00	0.00	4.45	0.60
46年目	H 78	0.1301	91.3	0.00	0.00	4.45	0.58
47年目	H 79	0.1251	91.3	0.00	0.00	4.45	0.56
48年目	H 80	0.1203	91.3	0.00	0.00	4.45	0.54
49年目	H 81	0.1157	91.3	-13.70	-1.59	4.45	0.52
合計				315.56	277.26	215.60	73.24
単純事業費計				329.26		215.60	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表（事業全体・残事業）

箇所名：国道470号（能越自動車道）輪島道路、輪島道路（Ⅱ期）

年度 (基準年)	年次	GDP テラワード	総走行台中の年次別伸び率 (北陸7中)				割引率 (A)	現在価値 ① 計	走行経費減少便益(億円)				現在価値 (A) × ②	事故減少便益(億円) ③ × (A)	合計 (億円)		
			乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	現在価値 (A) × ②			現在価値 (A) × ③	便益合計 (①+④)	現在価値 割引率%
H 26	供用開始年次																
H 32	1年目	91.3	0.99388	0.98583	0.98106	0.99285	0.7903	952	1.64	0.63	0.17	1.11	0.84	0.66	11.71	9.30	
H 33	2年目	91.3	0.99586	0.98563	0.98070	0.99280	0.7599	722	1.61	0.62	0.17	1.40	0.83	0.63	11.69	8.88	
H 34	3年目	91.3	0.99585	0.98542	0.98032	0.99275	0.7307	719	1.59	0.61	0.17	1.39	0.83	0.60	11.61	8.48	
H 35	4年目	91.3	0.99583	0.98520	0.97992	0.99270	0.7026	24.60	5.42	2.12	0.57	3.41	2.51	1.76	38.94	27.36	
H 36	5年目	91.3	0.99581	0.98498	0.97951	0.99264	0.6756	24.50	5.34	2.07	0.56	3.39	2.49	1.68	38.66	26.12	
H 37	6年目	91.3	0.99579	0.98475	0.97908	0.99259	0.6486	24.40	5.26	2.03	0.55	3.38	2.47	1.60	38.39	24.94	
H 38	7年目	91.3	0.99578	0.98452	0.97864	0.99253	0.6246	24.30	5.18	1.99	0.55	3.36	2.45	1.53	38.12	23.81	
H 39	8年目	91.3	0.99576	0.98427	0.97817	0.99248	0.6006	24.19	5.10	1.95	0.54	3.35	2.43	1.46	37.84	22.73	
H 40	9年目	91.3	0.99574	0.98402	0.97768	0.99242	0.5775	24.09	5.02	1.90	0.53	3.33	2.41	1.39	37.57	21.70	
H 41	10年目	91.3	0.99572	0.98376	0.97717	0.99236	0.5553	23.99	4.94	1.86	0.52	3.32	2.40	1.33	37.30	20.71	
H 42	11年目	91.3	0.99077	0.98335	1.00200	0.99205	0.5339	23.89	4.86	1.82	0.51	3.31	2.38	1.27	37.03	19.77	
H 43	12年目	91.3	0.99069	0.98320	1.00200	0.99199	0.5134	23.66	4.83	1.82	0.50	3.28	2.36	1.21	36.73	18.86	
H 44	13年目	91.3	0.99060	0.98326	1.00200	0.99193	0.4936	23.44	4.80	1.83	0.50	3.24	2.34	1.15	36.42	17.98	
H 45	14年目	91.3	0.99051	0.98321	1.00199	0.99186	0.4746	23.22	4.76	1.83	0.50	3.21	2.32	1.10	36.12	17.14	
H 46	15年目	91.3	0.99042	0.98316	1.00198	0.99179	0.4564	23.00	4.73	1.83	0.50	3.18	2.30	1.05	35.82	16.35	
H 47	16年目	91.3	0.99033	0.98312	1.00198	0.99173	0.4388	22.78	4.70	1.84	0.49	3.15	2.28	1.00	35.52	15.59	
H 48	17年目	91.3	0.99023	0.98307	1.00198	0.99166	0.4220	22.56	4.67	1.84	0.49	3.12	2.26	0.96	35.22	14.86	
H 49	18年目	91.3	0.99014	0.98302	1.00198	0.99159	0.4057	22.34	4.63	1.84	0.49	3.09	2.25	0.91	34.92	14.17	
H 50	19年目	91.3	0.99004	0.98297	1.00197	0.99152	0.3901	22.12	4.60	1.85	0.48	3.06	2.23	0.87	34.62	13.50	
H 51	20年目	91.3	0.98994	0.98292	1.00197	0.99144	0.3751	21.90	4.57	1.85	0.48	3.02	2.21	0.83	34.32	12.87	
H 52	21年目	91.3	0.98984	0.98287	1.00196	0.99137	0.3607	21.68	4.54	1.86	0.48	3.00	2.19	0.79	34.01	12.27	
H 53	22年目	91.3	0.98973	0.98282	1.00196	0.99129	0.3468	21.46	4.50	1.86	0.47	2.97	2.17	0.75	33.71	11.69	
H 54	23年目	91.3	0.98963	0.98277	1.00196	0.99122	0.3335	21.24	4.47	1.87	0.47	2.94	2.15	0.72	33.41	11.14	
H 55	24年目	91.3	0.98952	0.98272	1.00195	0.99114	0.3207	21.02	4.44	1.87	0.47	2.91	2.13	0.68	33.11	10.62	
H 56	25年目	91.3	0.98941	0.98267	1.00195	0.99106	0.3083	20.80	4.41	1.87	0.46	2.88	2.12	0.65	32.81	10.12	
H 57	26年目	91.3	0.98929	0.98261	1.00194	0.99098	0.2965	20.58	4.38	1.87	0.46	2.85	2.09	0.62	32.51	9.64	
H 58	27年目	91.3	0.98918	0.98255	1.00194	0.99090	0.2851	20.36	4.34	1.88	0.46	2.82	2.08	0.59	32.21	9.18	
H 59	28年目	91.3	0.98906	0.98250	1.00194	0.99081	0.2741	20.14	4.31	1.88	0.45	2.79	2.06	0.56	31.91	8.75	
H 60	29年目	91.3	0.98894	0.98244	1.00193	0.99073	0.2636	19.92	4.28	1.88	0.45	2.76	2.04	0.54	31.60	8.33	
H 61	30年目	91.3	0.98881	0.98238	1.00193	0.99064	0.2534	19.70	4.25	1.89	0.45	2.73	2.02	0.51	31.30	7.93	
H 62	31年目	91.3	0.98870	0.98233	1.00193	0.99056	0.2437	19.48	4.21	1.89	0.44	2.70	2.00	0.49	31.00	7.56	
H 63	32年目	91.3	0.98859	0.98228	1.00193	0.99048	0.2343	19.26	4.18	1.90	0.44	2.67	1.98	0.46	30.70	7.19	
H 64	33年目	91.3	0.98848	0.98223	1.00193	0.99040	0.2253	19.04	4.15	1.90	0.44	2.64	1.96	0.44	30.40	6.85	
H 65	34年目	91.3	0.98837	0.98218	1.00193	0.99032	0.2166	18.82	4.12	1.90	0.43	2.62	1.94	0.42	30.10	6.52	
H 66	35年目	91.3	0.98826	0.98213	1.00193	0.99024	0.2083	18.60	4.08	1.91	0.43	2.59	1.92	0.40	29.80	6.21	
H 67	36年目	91.3	0.98815	0.98208	1.00193	0.99016	0.2003	18.38	4.05	1.91	0.43	2.56	1.91	0.38	29.50	5.91	
H 68	37年目	91.3	0.98804	0.98203	1.00193	0.99008	0.1926	18.16	4.02	1.91	0.42	2.54	1.89	0.36	29.20	5.62	
H 69	38年目	91.3	0.98793	0.98198	1.00193	0.99000	0.1852	17.95	3.99	1.92	0.42	2.51	1.87	0.35	28.91	5.35	
H 70	39年目	91.3	0.98782	0.98193	1.00193	0.98992	0.1780	17.73	3.96	1.92	0.42	2.48	1.85	0.33	28.61	5.09	
H 71	40年目	91.3	0.98771	0.98188	1.00193	0.98984	0.1712	17.51	3.92	1.92	0.41	2.45	1.83	0.31	28.31	4.85	
H 72	41年目	91.3	0.98760	0.98183	1.00193	0.98976	0.1646	17.30	3.89	1.93	0.41	2.42	1.81	0.30	28.02	4.61	
H 73	42年目	91.3	0.98749	0.98178	1.00193	0.98968	0.1583	17.08	3.86	1.93	0.41	2.39	1.79	0.28	27.73	4.39	
H 74	43年目	91.3	0.98738	0.98173	1.00193	0.98960	0.1522	16.87	3.83	1.94	0.40	2.36	1.78	0.27	27.43	4.18	
H 75	44年目	91.3	0.98727	0.98168	1.00193	0.98952	0.1463	16.66	3.80	1.94	0.40	2.33	1.76	0.26	27.14	3.97	
H 76	45年目	91.3	0.98716	0.98163	1.00193	0.98944	0.1407	16.45	3.77	1.94	0.40	2.30	1.74	0.24	26.85	3.78	
H 77	46年目	91.3	0.98705	0.98158	1.00193	0.98936	0.1353	16.23	3.73	1.95	0.39	2.27	1.72	0.23	26.56	3.59	
H 78	47年目	91.3	0.98694	0.98153	1.00193	0.98928	0.1301	16.02	3.70	1.95	0.39	2.24	1.70	0.22	26.27	3.42	
H 79	48年目	91.3	0.98683	0.98148	1.00193	0.98920	0.1251	15.82	3.67	1.95	0.39	2.21	1.68	0.21	25.99	3.25	
H 80	49年目	91.3	0.98672	0.98143	1.00193	0.98912	0.1203	15.61	3.64	1.96	0.38	2.18	1.67	0.20	25.70	3.09	
H 81	合計	91.3	0.98661	0.98138	1.00193	0.98904	0.1157	15.40	3.61	1.96	0.38	2.15	1.65	0.19	25.42	2.94	
								97593	21036	9138	127767	45611	13546	6129	17112	154895	55315

路線名	箇所名	車線数	延長
輪島道路、 輪島道路(Ⅱ期)	輪島IC(仮称)～能登空港IC	2	11.5km

■事業費内訳【事業全体】

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					29,026	
改良費					9,270	
	土工		m ³	3,897,788	2,609	
	軟弱地盤改良工		m ³	917,341	2,513	
	法面工		m ²	313,817	1,414	切土法面、盛土法面
	擁壁工		式	1	429	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
	管渠工		m	1,405	118	
	函渠工		式	1	1,171	
	排水工		m	40,279	459	
	中央分離帯工		m	9,565	181	
	雑工		式	1	375	機能補償道路(1,112m)・水路(103m)等
トンネル費					10,038	
	NATM		m	2,500	10,038	
橋梁費					6,524	
	100m以上		m	838	5,179	4橋
	100m未満		m	246	1,114	3橋
	跨道橋		m	115	231	2橋
IC・JCT費					834	
	IC		箇所	4	834	平面交差点(1)、ダイヤモンド型(1)、平面Y型(2)
舗装費					1,437	
	車道舗装		m ²	136,844	1,437	
付帯施設費					923	
	交通管理施設工		式	1	923	標識工、防護柵工、道路照明等
②用地及補償費					4,421	
用地費						
	宅地		m ²	2,179,376	2,085	
	田畑		m ²	38,273	383	
	山林・原野		m ²	402,813	1,007	
	山林・原野		m ²	1,738,290	695	
補償費						
			式	1	2,336	
③間接経費						
			式	1	5,553	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					39,000	

路線名	箇所名	車線数	延長
輪島道路、 輪島道路(Ⅱ期)	輪島IC(仮称)～能登空港IC	2	11.5km

■事業費内訳【残事業】

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				28,311	
	改良費				8,584	
		土工	m ³	3,458,777	2,309	
		軟弱地盤改良工	m ³	818,225	2,210	
		法面工	m ²	278,098	1,371	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	429	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m	1,310	114	
		函渠工	式	1	1,144	
		排水工	m	39,642	451	
		中央分離帯工	m	9,565	181	
		雑工	式	1	375	機能補償道路(1,112m)・水路(103m)等
	トンネル費				10,038	
		NATM	m	2,500	10,038	
	橋梁費				6,524	
		100m以上	m	838	5,179	4橋
		100m未満	m	246	1,114	3橋
		跨道橋	m	115	231	2橋
	IC・JCT費				805	
		IC	箇所	4	805	平面交差点(1)、ダイヤモンド型(1)、平面Y型(2)
	舗装費				1,437	
		車道舗装	m ²	136,844	1,437	
	付帯施設費				923	
		交通管理施設工	式	1	923	標識工、防護柵工、道路照明等
②	用地及補償費				3,214	
	用地費		m ²	683,250	878	
		宅地	m ²	35,798	358	
		田畑	m ²	124,104	310	
		山林・原野	m ²	523,348	209	
	補償費		式	1	2,336	
③	間接経費		式	1	3,955	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				35,479	

路線名	箇所名	車線数	延長
国道470号 (能越自動車道)	輪島道路、輪島道路(Ⅱ期)	2	11.5km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円/年)	備考
維持費	km	11.5	96	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	385	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			481	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。